

インドネシア共和国  
産業セクター振興開発計画事前調査  
報告書

1989年5月

国際協力事業団



インドネシア共和国  
産業セクター振興開発計画事前調査  
報告書

1987

JICA LIBRARY



1076359171

1989年5月

国際協力事業団



国際協力事業団

19687

# 目 次

## <総 論>

I 事前調査の概要	2
1. 要請の背景と経緯	2
2. 調査の目的	2
3. 調査団の構成	6
4. 調査日程	6
5. 主要面談者	7
II 協議の内容と結果	9
1. 冒頭概要説明	9
2. 調査期間及び業種・品目の決定	9
3. 調査項目	10
4. インドネシア側要望及びコメント	10
5. 調査団側要望及びコメント	11
6. 懸案事項	11
7. Scope of Work (S/W)	16
8. Minutes of Meetings (M/M)	25

## <各 論>

III 業種・品目決定の概要	32
1. 調査の手順	32
2. 調査結果の総括	39
IV ハンディクラフト	47
1. 対象品目についての討議の経緯	47
2. 品目の定義	47
3. 対象品目の産業構造	51
4. 輸 出	54
5. アソシエーション	63
6. 海外及びインドネシア政府の助成振興策	65
7. 外国からの投資	67
8. 州単位産業動向と輸出振興	67
9. 海外での協力	70

10. 産業育成と輸出奨励に関する所見	70
11. 終りに	72
V ゴム	
1. 品目説明	73
2. 対象品目の産業構造	73
3. 産業の規模	74
4. 生産技術レベル	77
5. 労働集約性	78
6. 国際競争力	79
7. 海外直接投資の可能性	79
8. 輸出計画	81
9. ゴム産業に関する所見	82
VI 電気機器	
1. 対象品目についての討議及び調査の経緯	83
2. 対象品目の定義	84
3. 対象品目の産業構造	85
4. 各企業の動向	87
5. 原材料の調達	88
6. 生産技術レベル及び生産方式の特徴	89
7. 労働集約性	89
8. 国際市場での競争力	89
9. 外国投資の要求	90
10. 所見	90
VII プラスチック	
1. 品目説明	92
2. 対象品目の産業構造	92
3. 産業の規模	94
4. 生産技術レベル	95
5. 労働集約性	96
6. 国際競争力	96
7. 海外直接投資の可能性	97
8. 輸出計画	97
9. 所見	99

## Ⅷ セラミック

1. 対象品目についての討議の経過	100
2. 対象品目の定義	100
3. 対象品目の産業構造	103
4. メーカー及び生産能力	105
5. 輸 出	108
6. 製品輸出	109
7. 需要予測	110
8. 原材料	110
9. 研究機関、メーカーからのヒアリングポイント	112
10. コスト分析	113
11. 輸出促進への所見	114

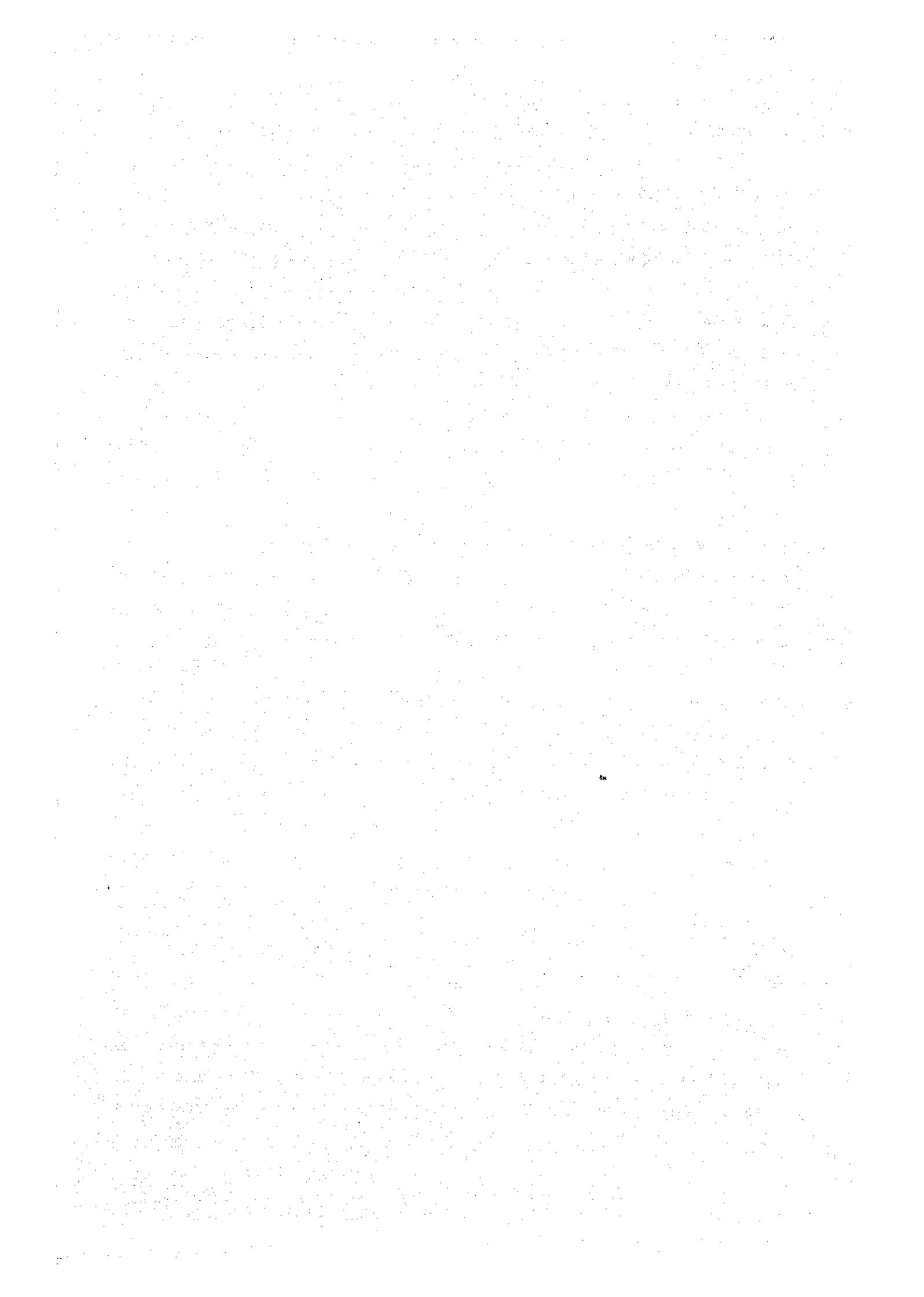
## Ⅸ アルミニウム

1. 対象品目についての討議及び調査の経緯	115
2. 対象品目の定義	116
3. 対象品目の産業構造	116
4. 各企業の動向	121
5. 原材料の調達	123
6. 技術レベル	123
7. 労働集約性	125
8. 国際競争力	128
9. 外国援助の要求度合	128
10. アソシエーション	128
11. 税 法	129
12. 所 見	130

## X 本格調査実施上の留意点

### <資 料>

1. 品目選定調査活動に使った資料	135
2. 入手資料リスト	150
3. 会社案内・パンフレット・見本等のリスト	153
4. Questionnaire	154



## 總 論



## 要 旨

1. 標記事前調査団は「イ」側と協議した結果、対処方針通りで、3月23日高原団長と工業省ジャーニー計画局長代行との間でS/W及びM/Mに署名交換を了した。
2. 本件は日・「イ」双方の共同作業であり、調査の効率的実施のためには、双方の協力が必要不可欠である旨確認した。
3. 調査期間は約2年間とし、各年の対象業種は以下の通りとした。
  - ① 1年次：ハンディクラフト・ゴム・電気機器
  - ② 2年次：セラミック・アルミニウム・プラスチック
4. 「イ」側は本件調査により提案されるプログラムがaction-orientedとなることを要望し、また非公式ながら研修員受入れの要望を示した。
5. 調査団は、本件に対する「イ」側の積極的参画を求めると同時に、当方が提出した質問状に対する回答を6月上旬までにJICAインドネシア事務所に提出するよう求めた。

## I 事前調査の概要

### 1. 要請の背景と経緯

インドネシアにおいて、1960年代から1970年代までは、財政主導型・石油依存型の高い経済成長をとげた。しかし、80年代中頃より続く石油価格の低迷、さらにルピア切り下げによる輸入価格の上昇により、経済環境は悪化している。

そこで、経済の過度な石油依存体質からの脱却が急務となり、その実現のために非石油・ガス製品の輸出の促進と輸出工業の育成をめざしている。

かかる状況下、輸出工業の振興・開発を眼目とした本件調査を要請越したものである。

この要請に対し、事業団は昭和63年12月に、要請内容の確認、対象業種の選定を目的として予備調査を実施した。

その後、具体的品目の選定を行う調査団を平成元年2月に派遣し、この結果を踏まえて今般事前調査団派遣のはこびとなった。(図I-1, 表I-1参照)

### 2. 調査の目的

#### 2-1 品目選定調査団

- ① 対象業種のプライオリティづけ
- ② 各業種よりの具体的2品目の選定

#### 2-2 S/Wミッション

- ① 要請の背景、具体的内容の再確認
- ② イ側実施体制の確認
- ③ S/W 協議
- ④ 関連情報の収集

Flow Chart for Industrial Sub-Sector Development Study

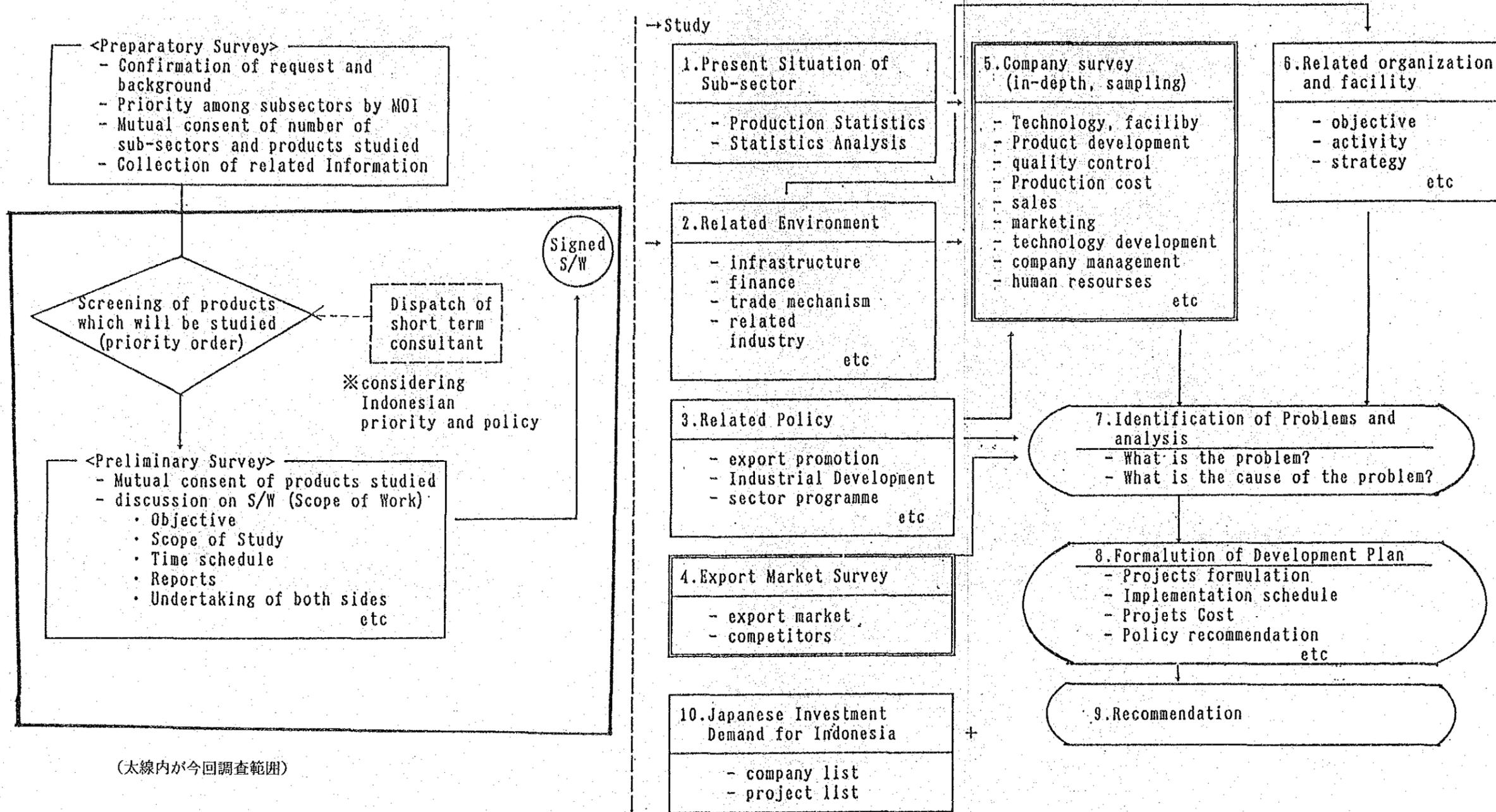




表1-1-1 インドネシア共和国産業センター振興開発計画経緯

	TOR	予備調査	事前調査(品目選定)	事前調査(S/W)
留意点	① 要請の具体的内容とは何か? ② 実施体制はどうか?	① 具体的品目選定の実施 ② 調査期間 ③ 「イ」側の主体的参画	① 対象業種・品目の確定 ② 調査期間の確定 ③ 「イ」側の主体的参画	
調査結果		① 本件は輸出促進を眼目とする ② 対象は6業種各2品目を上限とする ③ 10業種から4業種を採択、1業種ベンディング ④ 「イ」側は調査期間の短縮を強く要望(3年→1年) ⑤ TOR 1.0 業種以外に3業種要請	① プライオリティづけ 1. ハンディクラフト 2. ゴム 3. プラスチック 4. セラミック 5. アルミニウム製品 6. 電気機器	① プライオリティづけ 1年次:ハンディクラフト, ゴム, 電気機器 2年次:セラミック・アルミニウム製品, プラスチック ② 質問状の提交 (6月までに提出)
調査事項		① 要請の背景, 具体的内容の把握 ② 実施体制 ③ 対象業種数・品目数の決定 ④ 関連情報の収集	① 各業種・品目の詳細データ収集 ② 業種・品目のプライオリティづけ	① S/W協議 ② ミニッツ作成 ③ 対象品目の確定 ④ 調査期間の確定
調査対象業種	1. アルミニウム 2. 鉄鋼2次製品 3. 金属加工 4. プラスチック 5. ゴム 6. 家具 7. 木製品 8. ハンディクラフト 9. 繊維 10. 食品加工	1. アルミニウム 2. プラスチック 3. ゴム 4. ハンディクラフト 5. 鉄鋼2次製品; ベンディング 6. セラミック 7. 電気機器 8. 皮製品 採択	1. アルミニウム 2. プラスチック 3. ゴム 4. ハンディクラフト 5. セラミック 6. 電気機器 (7. 鉄鋼2次製品)	

### 3. 調査団の構成

#### 3-1 品目選定調査団

- |        |       |                 |
|--------|-------|-----------------|
| ① 広瀬和雄 | 工業開発  | センチュリリサーチセンタ(株) |
| ② 川口正満 | 輸出・投資 | 〃               |
| ③ 黒田 朗 | 市場調査  | 商工組合中央金庫        |

#### 3-2 S/Wミッション

- |        |        |                 |
|--------|--------|-----------------|
| ① 高原弘栄 | 団長・総括  | 通商産業省 技術協力課長    |
| ② 井倉義伸 | 調査企画   | 国際協力事業団 工業調査課   |
| ③ 竹内英治 | 技術協力行政 | 通商産業省 技術協力課     |
| ④ 広瀬和雄 | 工業開発   | センチュリリサーチセンタ(株) |
| ⑤ 川口正満 | 輸出・投資  | センチュリリサーチセンタ(株) |

### 4. 調査日程

#### 4-1 品目選定調査団

平成元年2月13日から平成元年3月4日まで(20日間)

詳細はⅢ-1参照

#### 4-2 S/Wミッション

月	日	曜	AM/PM	調 査 日 程	宿 泊 地
3	19	日		・ジャカルタ着	ジャカルタ
3	20	月	AM PM	・JICA事務所(主旨・対処方針説明) ・大使館(〃) ・工業省(概要説明)	ジャカルタ
3	21	火	AM PM	・工業省とS/W協議 ・ステアリングコミッティと協議	ジャカルタ
3	22	水	AM PM	・工業省とS/W協議 ・ミニッツ案作成	ジャカルタ
3	23	木	AM PM	・ミニッツ協議 ・S/W・ミニッツ署名	ジャカルタ
3	24	金	AM PM	・JICA事務所報告 ・帰国	機中泊 ジャカルタ
3	25	土	AM PM	・東京着 ・バンコックへ出発(高原団長のみ)	

## 5. 主要面談者

### 5-1 工業省 (Ministry of Industry)

Achmad Djani	Acting Head Bureau of Planning, MOI (署名者)
Kusyanto	Bureau of Planning, MOI
M. Hanafiah	Bureau of Planning, MOI
Alexander Bp.	Bureau of Planning, MOI
Sakri Windhianto	Bureau of Planning, MOI
Nurdin M. Saleh	Bureau of Planning, MOI
A. S. Siagian	Head, Bureau of International Cooperation, MOI
Hidayat Suwandi	Bureau International Cooperation, MOI
A. Munir	Bureau International Cooperation, MOI
Bosmar Sembiring	Directorate General of Small Scale Industry, MOI
Rudi Akil	Directorate General of Small Scale Industry, MOI
Purwadi	Directorate General of Small Scale Industry, MOI
Chaeruddin	Directorate General of Machinery & Basic Metal Indu- stry, MOI
Ardiansyan	Directorate General of Machinery & Basic Metal Indu- stry, MOI
Masaruddin	Directorate General of Machinery & Basic Metal Indu- stry, MOI
Ferry Yahya	Directorate General of Multivarious Industry, MOI
Rifana Erni (Mrs)	Agency for Industrial Research & Development, MOI

### 5-2 インドネシア銀行

Sutedjo	Bank of Indonesia
Chairil Anwar	Bank of Indonesia

### 5-3 商業省

R. E. Brahmana	National Agency for Export Development, Ministry of Trade
----------------	--

### 5-4 BAPPENAS

Dida Heryadi Salya	National Development Planning Agency
--------------------	--------------------------------------

5-5 在インドネシア日本国大使館

伊集院 明 夫	公 使
浅 見 真	参事官
倉 持 治 彦	一等書記官
本 多 隆	二等書記官

5-6 JETROジャカルタセンター

北 修 爾	所 長
小 黒 啓 一	所 員

5-7 JACA事務所

北 野 康 夫	所 長
友 部 秀 器	所 員

## II 協議の内容と結果

### 1. 冒頭概要説明(団長発言)

- ・ 今回の調査団の目的は、1988年1-2月に実施した予備調査及びその後1989年2月に実施した品目選定調査の結果に基づき、本格調査実施のためにS/Wに関する協議を行うことにある。
- ・ 本格調査を成功させるためには、調査が共同作業であることを双方十分に認識しつつ、協力を密にしてゆくことが重要である。
- ・ また本件は複数の省庁の所管に調査内容がわたるために、各省の代表者からなるステアリングコミッテイが重要な役割をはたすことを期待する。
- ・ 今回の協議を効率的に実施するとともに、今後とも双方の協力により調査が成功裡に実施されることを期待する。

### 2. 調査期間及び業種・品目の決定

#### 2-1 調査期間

- ・ 予備調査時では3ヶ年を予定していたが、検討の結果約2ヶ年までは短縮可能だが、これ以上の短縮は難しい旨表明した。
- ・ 「イ」側は、日本側の努力を評価し、調査期間を約2ヶ年とし、1ヶ年3業種を対象とすることで双方合意した。

#### 2-2 業種・品目の決定

- ・ 各年次における日本側対象業種・品目案を以下の通り表明した。(表II-1参照)

a. ハンディクラフト (ファッションアクセサリー/トランザクションハンディクラフト)	} 1年次
b. ゴム (工業用ゴム/ラテックス製品)	
c. プラスチック (インジェクション/シート・袋物)	
d. アルミニウム (ワイヤスト/シート類)	} 2年次
e. セラミック (セラミック/建材)	
f. 電気機器 (発電機・モーター/トランスフォーマー)	
- ・ これに対し「イ」側は、アルミニウム又は電気機器を1年次対象業種にして欲しい旨要望した。
- ・ 調査団は、「イ」の要望の背景を聴取したところ、工業省内の各総局のバランスもあり調査の円滑な実施の観点からして、「イ」側の要望をいれ対象を以下の通りとした。

(1) For the first year(1989/1990)

(Sub-sector)

(Product)

- a. Handicraft
  - Fashion accessories  
(precious stones and metals, pearls etc.)
  - Traditional handicrafts  
(wooden craft, textile etc.)
- b. Rubber-based industry
  - Industrial rubber goods  
(Belts, hoses, tubes excl. automobile tyres)
  - Latex-based goods  
(gloves, condoms, medical & hygienic)
- c. Electrical machinery
  - Transformers
  - Generators & motors

(2) For the second year (1990/1991)

- d. Ceramic industry
  - Table ware
  - Construction materials  
(tiles and sanitary)
- e. Aluminum down-stream
  - Die cast products
  - Sheets, sheet formed products and foils
- f. Plastic industry
  - Injection products  
(camera body, electric components, & household utilities)
  - Sheets, films, & woven bags.

- ・ 上記 c. 及び d. に関しては正式要請が未着であるため調査開始のためには同要請が必要である旨申し述べた。

3. 調査項目

- ・ 字句の修正及び S/W III. Scope of the Study 4 項に各国の関連政策の比較を追加し、ほぼ原案通りで双方合意した。

4. 「イ」側要望及びコメント

- ・ 今回の調査により提案される計画が、その後の実施にうまくつながるように Action-oriented となることを強く要望した。
- ・ 本格調査の国内作業中にドラフトレポートの協同作成及び日本の関連政策の理解を目的とした C/P 研修員の受入れを要望した。
- ・ 「イ」側 Undertaking の中、車両及び雇員の確保については、財政ひっ迫の事情もこれ

あり難い状況にある旨表明した。

## 5. 調査団側要望及びコメント

- ・ 調査実施にあたっては、ステアリングコミッティ及びテクニカルコミッティが重要な役割をはたすことを再度要望した。
- ・ 「イ」側の本件に対するニーズを把握するために、質問状を手交したが、これに対する回答を本年6月上旬までにJICAインドネシア事務所あて提出するよう要望した。

## 6. 懸案事項

- 6-1 電気機器及びセラミックについての正式要請の提出を調査開始までに確保する必要がある。  
(工業省からSRTKABには提出済)
- 6-2 先方から当方質問状に対する回答が本年6月に提出される見込みであるが、その結果を本格調査に十分に反映させることが必要である。(資料4参照)
- 6-3 本件は、政策等ソフトの分野をふくむために、先方機関と十分に意見交換を行いながら調査を実施する必要がある。
- 6-4 また本件は、複数の省庁の所管にわたるため、ステアリングコミッティ及びテクニカルコミッティの開催及び機能について推移を見守る必要がある。

表 II - 1

PRIORITY LIST & Screening points by each 6 SUB-SECTORS			
SUB-SECTORS AND PRODUCTS		EXPORT PERFORMANCE	LABOR INTENSIVE
1.	<p>CCCN 95,99 ISIC 3901</p> <p>HANDICRAFT</p> <p>1) FASHION ACCESSORY (Precious stone, metals, pearls etc.) 7112 7101</p>	<p>○</p> <p>- Common to the int'l markets</p> <p>'87 324 "¢\$ to USA 100 JPA 60</p> <p>'93 1,200</p>	<p>○</p> <p>250-1,400 thousands</p>
	<p>2) TRADITIONAL HANDICRAFTS (Wooden craft, Textile etc.) 3319 3906</p> <p>* GIFT ITEMS, INTERIOR DECORATORS</p>	<p>△</p> <p>- Sales promotion is the basic target.</p>	
2.	<p>RUBBER PRODUCTS</p> <p>1) INDUSTRIAL RUBBER GOODS (BELTS, HOSE, TUBE) 40100 4009 Excl. Automobile tyres</p>	<p>○</p> <p>'86 13 "¢\$ '87 26.8 '88. 1-6 21</p>	<p>○</p> <p>87 factories 6000 employees</p>
	<p>2) LATEX BASED RUBBER GOODS (GLOVES, CONDOM, MEDICAL &amp; HYGENIC) 4012900</p>	<p>○</p> <p>'88. 1-10 0.2 "¢\$</p>	<p>△</p> <p>3 factories 200 employees</p>
3.	<p>PLASTIC PRODUCTS 3221</p> <p>1) INJECTION PRODUCTS (CAMERA BODY, ELECTRIC COMPONENTS, CASSETS ETC.) Excl. Pipes and Bottles</p>	<p>○</p> <p>'88. 1-10 25.8 "¢\$</p>	<p>○</p> <p>232 factories 12000 employees</p>
	<p>2) Sheets, Films and Woven Bags</p>	<p>○</p> <p>'88. 1-10 6.5 "¢\$</p>	<p>○</p> <p>91 factories 24320 employees</p>

○ Conditions are advanced or competitive △ fairly good subject to developing conditions × unfavorable				
TECHNICAL CONDITIONS	RAW MATERIALS	INVESTMENT DEMANDS	INTERNATIONAL COMPETITIVENESS	IMPORT SUBSTITUTION
△ well skilled with local design  Need Export oriented design to meet Consumer requirements } (design, mass-sales, delivery) △	○ Satisfactory	△ Subject to regulations free to Foreigners  Small investment on commercial base shall make favorable return } △ Tourism related industry is a must	△ Lack of Sales power  △ OEM, Semi-finished products or BRAND item must be developed	×  × '87 58"\$
△ Long term experience. But unsatisfactory except Japanese J/V	○ 2nd biggest producer '85 1.125 T Exp. 718 T  '87 Exp.	○ 3 Japanese JV, but not enough	△ Synthetic Rubber is imported	△
△ Need quality stability	○ 1095 T 960 "\$	○ required for Condom production	○ Rivals are Thai, Malaysia only	× 29.8"\$
△ Need higher level in plastic molding	Import PP, PE 0.45 Mtons	○ Big potentialities to construct petro-chemical complexes  CONSUMPTION per capita 2.5Kg	△	○ Imp. '86 515T '87 624T
○ Top level in ASEAN	Suppliable PS, PVC	Big makers will have internal demands for their own products	○ Competing with China, Taiwan	'88.1-10 29.2 "\$

PRIORITY LIST & Screening points by each 6 SUB-SECTORS			EXPORT	LABOR
SUB-SECTORS AND PRODUCTS / SITC			PERFORMANCE	INTENSIVE
4.	CERAMICS 1) TABLE WARE	CCCN 6911 ISIC 3611	○ '87 0.39 "\$ 88.1-3 0.67 '93 16.9	○ 25 factories 12,000 workers
	2) CONSTRUCTION MATERIALS TILES SANITARY	6811 3642 69101 36 -69111	○ '87 3.9 "\$ 88.1-3 1.5 Sanitary '88.1-10 7 "\$	○ Tiles 8000 workers △ Sanitary 2000 workers
5.	ALUMINIUM DOWN-STREAM INDUSTRY 1) DIE CAST PRODUCTS (Incl. Low & High Pressure Casting)		× No Export	○ Process after die cast is labor intensive.
	2) Aluminum Sheets, Sheet formed products & Foils	7603 7606	△ '88. 1-10 939 T 3.3 "\$	△ 6 factories 1400 workers Production of cook- ing ware is labor intensive.
6.	ELECTORICAL MACHINERY 1) TRANSFORMERS (POWER & DISTRIBUTOR)	8501510/590	○ '88. 1-10 0.63 "\$ '93 5.8	△ 9 factories 1435 workers
	2) GENERATORS & MOTORS	8501131 8501121 139 129	△ '88. 1-10 0.16 "\$ '93 3.9	△ 26 factories 1000 workers

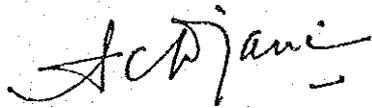
○ Conditions are advanced or competitive △ fairly good subject to developing conditions × unfavorable				
TECHNICAL CONDITIONS	RAW MATERIALS	INVESTMENT DEMANDS	INTERNATIONAL COMPETITIVENESS	IMPORT SUBSTITUTION
○ Fairly good as foreign partners have assisted	○ Import for only high grade goods	× Production capa. has been increased 216% for 2 years	△ Pricewise very severe	○ '86 2.25 *\$ '87 2.12 88.1-101.68
○	○ unsupplyable Pigments, Frit, Chemical ingredients	△ marketing must be studied	△ Re:Tiles Need to seek for the proper market	×
× Big companies produce for their use	○ Except master alloy	○ Invested capital is relatively small	× Very competitive after development	○ For automotive, machinery etc.
△ Need technics of sheet thickness control	○	○ No Japanese JV	△ '87 217T for JAPAN 248T for SPR	×
△ 3 JV	△ Some parts shall be still imported	○ Need more JV	○	○ '88.1-10 19*\$
△ 5 JV Need quality control system	△ Local content 50%	○ Production is still small	△ Supporting industry is not developed	○ '88.1-10 120*\$

7. Scope of Work

SCOPE OF WORK  
FOR  
THE STUDY ON INDUSTRIAL SUB-SECTOR DEVELOPMENT  
IN  
THE REPUBLIC OF INDONESIA

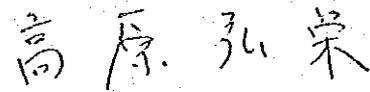
AGREED UPON BETWEEN  
THE MINISTRY OF INDUSTRY  
AND  
THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Jakarta, March 23, 1989



---

ACHMAD DJANI  
Acting Head,  
Bureau of Planning  
Ministry of Industry



---

HIROE TAKAHARA  
Leader,  
Preliminary Survey Team,  
Japan International  
Cooperation Agency

## I. INTRODUCTION

In response to the request of the Government of the Republic of Indonesia, the Government of Japan decided to conduct the Study on Industrial Sub-Sector Development in the Republic of Indonesia (hereinafter referred to as "the Study"), in accordance with the relevant laws and regulations in force in Japan.

Accordingly, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), the official agency responsible for the implementation of the technical cooperation programmes of the Government of Japan, will undertake the Study, in close cooperation with the authorities concerned of Indonesia.

The present document sets forth the Scope of Work with regard to the Study.

## II. OBJECTIVES OF THE STUDY

The objectives of the Study are to study the present condition of selected subsectors/products under the export-oriented industry and to formulate development and promotion plan for those subsectors/products.

## III. SCOPE OF THE STUDY

In order to achieve the above objectives, the Study shall cover the following items:

1. Review of the present situation of the selected subsectors/products:
  - (1) products under each subsector
  - (2) production (in quantity, quality and value)
  - (3) export and import (in quantity, quality and value)

- (4) number of enterprises and employees by scale
- (5) profiles of the leading enterprises.

2. Review of the up-dated policies and measures and related organizations of the government on industrial promotion, and the business infrastructure for the selected subsectors/products:

- (1) government administrative system and policy making body
- (2) sector development
- (3) export promotion
- (4) promotion of investment and technical cooperation
- (5) taxation
- (6) financing
- (7) trade mechanism
- (8) infrastructure.

3. Review of the present situation of production and identification of the actual problems hampering export of selected products under the subsectors in the following areas :

- (1) manufacturing process (each product)
- (2) technical level (machinery and technical skills)
- (3) product development and design
- (4) factory management and quality control
- (5) management (labor management, human resources development, financing etc.)
- (6) procurement of raw materials and the relation with the supporting industries
- (7) cost analysis
- (8) marketing strategies

(9) sales

(10) investments.

4. Survey on the market situation and governmental policies of selected products:

(1) trend of production, import and export, and target

(2) competitiveness situation among exporting and competing countries and marketability of the products in the major importing countries

(3) comparison of governmental policies.

5. Formulation of the development program of the subsectors /products including :

(1) improvement and modification of the present policies and measures

(2) improvement of manufacturing process

(3) improvement of the development system for the products and design

(4) improvement of quality and cost reduction

(5) improvement of management and human resources development

(6) improvement of sales and marketing network

(7) improvement of financial schemes and assistance.

6. Information for the promotion of investment and technical cooperation:

(1) the list of and information of potential investors from Japan and Indonesian partners (for the selected subsectors/products).

#### IV. SCHEDULE OF THE STUDY

The Study will be executed in six selected subsectors during the period of 2 years. Three priority subsectors will be selected for the Study each year.

The whole study will be conducted in accordance with the attached tentative schedule.

#### V. REPORTS

JICA will prepare and submit the following reports written in English to the Government of Indonesia, which will be formulated for each three priority subsectors each year.

1. Inception Report --- Thirty (30) copies at the beginning of field work
2. Progress Report --- Thirty (30) copies at the end of the field work
3. Interim Report --- Thirty (30) copies within 3 month after completion of the field work
4. Draft Final Report --- Thirty (30) copies within 7 months after completion of the field work
5. Final Report --- Thirty (30) copies within 2 months after receipt of comments on the Draft Final Report

## VI. UNDERTAKING OF GRI

1. To facilitate smooth implementation of the Study, GRI shall take the following necessary measures:

- (1) to secure the safety of the Japanese study team,
- (2) to permit the members of the Japanese study team to enter, leave and sojourn in Indonesia for the duration of their assignment therein, and exempt them from alien registration requirements and consular fees,
- (3) to exempt the members of the Japanese study team from taxes, duties and any other charges on equipment, machinery and other materials brought into Indonesia for the implementation of the Study,
- (4) to exempt the members of the Japanese study team from income tax and other charges of any kind imposed on or in connection with any emoluments or allowances paid to the members of the Japanese study team for their services in connection with the implementation of the Study,
- (5) to provide the necessary facilities to the Japanese study team for the remittance as well as utilization of the fund introduced into Indonesia from Japan in connection with the implementation of the Study,
- (6) to provide medical services as needed,  
(Its expenses will be chargeable on members of the Japanese study team.)
- (7) to secure permission to take all data and documents (including photographs) related to the Study out of Indonesia to Japan by the Japanese study team, and

- (8) to secure permission for entry into private properties or restricted areas for the conduct of the Study.
2. GRI shall bear claims, if any arises against the members of the Japanese study team resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their duties in the implementation of the Study, except when such claims arise from gross negligence or willful misconduct on the part of members of the Japanese study team.
  3. Ministry of Industry(hereinafter referred to as "MOI") shall act as a counterpart agency to the Japanese study team and also coordinating body in relation with other governmental and non-governmental organizations concerned for the smooth implementation of the Study.
  4. MOI shall, at its own expense, provide the Japanese study team with the followings, in cooperation with other relevant organizations concerned ;
    - (1) available data and information related to the Study,
    - (2) counterpart personnel,
    - (3) suitable office space with necessary equipment in Jakarta,
    - (4) credentials or identification cards,
    - (5) necessary vehicles with drivers, fuel and spareparts in study area, and
    - (6) necessary personnel for the Study.

## VII. UNDERTAKING OF JICA

For the implementation of the Study, JICA shall take the following measures ;

1. To dispatch, at its own expense, study teams to Indonesia, and
2. To pursue technology transfer to the Indonesian counterpart personnel in the course of the Study.

## VIII. CONSULTATION

JICA and MDI shall consult with each other in respect of any matter that may arise from or in connection with the Study.



8. Minutes of Meeting (M/M)

MINUTES OF MEETINGS  
ON DISCUSSIONS  
FOR  
THE STUDY ON INDUSTRIAL SUB-SECTOR  
DEVELOPMENT  
BETWEEN  
THE MINISTRY OF INDUSTRY OF THE  
REPUBLIC OF INDONESIA  
AND  
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION  
AGENCY (JICA)

MINUTES OF MEETINGS  
ON DISCUSSIONS  
FOR  
THE STUDY ON INDUSTRIAL SUB-SECTOR DEVELOPMENT

=====

The JICA Preliminary Survey Team made a visit to Indonesia from March 19th to 24th, 1989 to discuss with Indonesian authorities concerned about the Study on Industrial Sub-Sector Development (DTA-284).

Meetings were held at the Ministry of Industry from March 20th to 23rd, 1989 between the Indonesian officials chaired by Mr. Achmad Djani, Acting Head, Bureau of Planning, Ministry of Industry on the Indonesian side, and the Preliminary Survey Team headed by Mr. Hiroe Takahara on the Japanese side (attendance as in the lists of Indonesian and Japanese delegations).

This Minutes of Meeting complements the Scope of Work agreed and signed by both sides and is intended for the smooth conduct in the whole course of the Study.

Both sides recognized the importance of close cooperation in due course of the Study in order to make the Study fruitful. Sufficient efforts should be made by both sides at every particular stage of the Study.

1. Sub-Sectors and Products Agreed in the Meeting.

The following priority sub-sectors and products will be studied during the period of two (2) years, three (3) sub-sectors will be selected for each year :

(1) For the first year (1989/1990)

( Sub-sector )	( Product )
a. Handicraft	- Fashion accessories (precious stones and metals, pearls etc.)  - Traditional handicrafts (wooden craft, textile etc.)
b. Rubber-based industry	- Industrial rubber goods (Belts, hoses, tubes excl. automobile tyres)  - Latex-based goods (gloves, condoms, medical & hygienic)
c. Electrical machinery	- Transformers  - Generators & motors

(2) For the second year (1990/1991)

d. Ceramic industry	- Table ware Construction materials (tiles and sanitary)
e. Aluminum down-stream industry	- Die cast products Sheets, sheet formed products and foils
f. Plastic industry	- Injection products (camera body, electric components, cassettes, automobile components, & household utilities)  - Sheets, films, & woven bags.

As far as sub-sectors c. and d. are concerned, submission of a formal request by the Indonesian side is prerequisite for the implementation of the Study.

2. Comments and request by the Indonesian side.

- (1) The Indonesian side highly appreciated the cooperation extended by the Government of Japan for the conduct of the Study on Industrial Sub-Sector Development in the Republic of Indonesia.
- (2) The Indonesian side expressed his view that this program should be action-oriented.
- (3) The Indonesian side requested to dispatch relevant Indonesian officials to Japan aiming at making discussion on the result of the Home Office Work in Japan (see Tentative schedule of the Study) and studying Japanese related circumstances.
- (4) Ministry of Industry expressed that the undertakings which should be provided by the Indonesian side might be constrained to some extent due to GRI financial limitations.

3. Comment and Request by the Japanese side.

- (1) The Japanese side highly appreciated that the Indonesian side has organized the Steering Committee and the Technical Committee and expected these organizations should play vital role for carrying out the Study.

- (2) The Japanese side requested the Indonesian side to respond on the submitted Questionnaire for the Study to JICA - Indonesia Office by the beginning of June 1989 aiming at collecting the Indonesian expectations for the study.

Done in Jakarta, Indonesia this twenty third day of March Nineteen Hundred Eighty Nine in two originals in English.

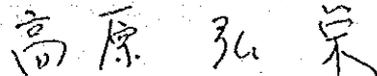
For the Government of the  
Republic of Indonesia



---

ACHMAD DJANI  
Acting Head,  
Bureau of Planning  
Ministry of Industry

For the Japan International  
Cooperation Agency



---

HIROE TAKAHARA  
Leader,  
Preliminary Survey Team  
the Japan International  
Cooperation Agency

LIST OF ATTENDANCE  
 INDONESIA MEMBERS OF STEERING & TECHNICAL COMMITTEE  
 INDUSTRIAL SUB-SECTOR DEVELOPMENT STUDY  
 MARCH 20 - 23, 1989

No.	N A M E	P O S I T I O N
1.	Achmad Djani	Acting Head Bureau of Planning, MOI
2.	Kusyanto	Bureau of Planning, MOI
3.	M. Hanafiah	Bureau of Planning, MOI
4.	Alexander Bp.	Bureau of Planning, MOI
5.	Sakri Widhianto	Bureau of Planning, MOI
6.	Nurdin M. Saleh	Bureau of Planning, MOI
7.	A.S. Siagian	Head, Bureau of International Cooperation, MOI
8.	Hidayat Suwandi	Bureau International Cooperation, MOI
9.	A. Munir	Bureau International Cooperation, MOI
10.	Bosmar Sembiring	Directorate General of Small Scale Industry, MOI
11.	Rudi Akil	Directorate General of Small Scale Industry, MOI
12.	Purwadi	Directorate General of Small Scale Industry, MOI
13.	Chaeruddin	Directorate General of Machinery & Basic Metal Industry, MOI
14.	Ardiansyah	Directorate General of Machinery & Basic Metal Industry, MOI
15.	Masaruddin	Directorate General of Machinery & Basic Metal Industry, MOI
16.	Ferry Yahya	Directorate General of Multi-various Industry, MOI
17.	Rifana Erni (Mrs)	Agency for Industrial Research & Development, MOI
18.	Sutedjo	Bank of Indonesia
19.	Chairil Anwar	Bank of Indonesia
20.	R.E. Brahmana	National Agency for Export Development, Ministry of Trade
21.	Dida Heryadi Salya	National Development Planning Agency

/Ngm.

MEMBER LIST  
FOR  
PRERIMINARY SURVEY  
ON  
INDUSTRIAL SUB-SECTOR DEVELOPMENT  
(JICA)

Team Leader Hiroe TAKAHARA Director, Technical Cooperation  
Division MITI

Tech. Coop. Eiji TAKEUCHI Technical Cooperation Division  
Administration MITI

Industrial Kazuo HIROSE Century Research Center Corp.  
development

Export Masamitsu KAWAGUCHI Century Research Center Corp.  
investment

Coordinator Yoshinobu IKURA Project Officer, Industry Survey  
Division JICA

### Ⅲ 業種・品目決定の概要

#### 1. 調査の手順

##### 1-1 出発前の準備作業（日本国内作業）

- (1) 本件調査に関する資料をJICAより借用。

インドネシアの経済全般及び輸出政策の実情について把握。

- (2) JICAに紹介していただき、1988年1-2月の予備調査に参加されたJETRO及びアジア経済研究所の方々から本件調査に関する個別の業界に関する助言及び資料をいただいた。

- (3) 収集した資料及び情報をもとに、各業界毎に品目選定に係る基準を作成した。

“SCREENING OF 2 PROMISING PRODUCTS UNDER EACH 6 SUB-SECTORS”を参照。

- (4) 工業省で協議すべき事項及び依頼すべき事項につき次の様にまとめた。資料1参照。

“INDUSTRIAL SUB-SECTOR DEVELOPMENT STUDY”

- ・ 業種の確認
- ・ 各業種毎の品目の例示
- ・ 品目毎の優先順位を検討するため最小限必要なデータのリスト
- ・ スケジュール
- ・ 訪問したいと考えているセクターの一覧表とアポイントメントの要請

特に必要なデータの収集については、現地到着後、工業省にデータの重要性を重ねて説明した。然しながら、先方が事前に準備すべき十分なデータの提供が今回の調査期間を通しても受けられなかった面もあった。

- (5) 工場訪問の際、質問する事項を前もってアンケート様式の質問状にまとめた。

“QUESTIONAIRES FOR INDUSTRIAL SUB-SECTOR DEVELOPMENT STUDY”を参照。

##### 1-2 現地調査のステップ

- (1) 工業省側担当者に対象6業種及び各品目の業界に関する下記データの収集を依頼した。

###### 1) Industrial structure of the product

-Number of enterprises

-Sizes of enterprises

-List of major enterprises

-Oligopoly or not ?

###### 2) Industrial scale of the product

-Total production (Volume and amount)

-Total employment

-Total supply (domestic and import)

### 3) Export performance

-At least for the past 3 years

(by country, by item, volume, amount)

しかし、後述する様に6業種および各品目のすべてに対して上記データを収集することはできなかった。

- (2) 現在、工業省が各業界の動向を的確に把握しているとは考えられないので、企業を訪問し、業界の動向、企業方針、原材料の調達及び関連法規の問題点等につき、前述した“QUESTIONNAIRE”にもとづき聴取した。
- (3) 工業省及び製造業者以外の関連省庁、日系法人も訪問し、業界の状況、将来計画等マクロ的な資料及び情報を収集した。(表Ⅲ-1参照)

表Ⅲ-1

インドネシア産業セクター振興開発計画		"民ベース短期間調査のデータ/情報		
	HANDICRAFT	RURRER	PLASTIC	
訪問先と 情報収集の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• JAKARTA HANDICRAFT CENTER</li> <li>私企業故、業容及び商売上の問題回答入手</li> <li>• BANK INDONESIA</li> <li>BALI/SURABAYAでの情報入手の協力を依頼</li> <li>• MOT(IETC)</li> <li>貿易実務等訓練センターの計画・進捗状況について</li> <li>• NAFED</li> <li>輸出振興活動について</li> <li>• BALI/MOI他</li> <li>HANDICRAFT CENTERS地場における製造販売状況視察とヒアリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• MOI</li> <li>基本統計を入手</li> <li>品目別工場数、従業員生産能力(以上1988年)</li> <li>輸出実績等</li> <li>企業等訪問数</li> <li>AIK ゴム協会 1</li> <li>商 社 1</li> <li>工業用ゴム 3</li> <li>サンダル 1</li> <li>ゴム手袋 2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• MOI</li> <li>左記に同じ</li> <li>企業等訪問数</li> <li>商 社 2</li> <li>ボトリング工場 1</li> <li>インジェクション 2</li> <li>プラスチック袋 3</li> <li>協 会 1</li> </ul>	
MOI以外の訪問先 に関し右記。 詳細については業種 毎訪問レポートの通 り。 及び訪問先名刺写し 添付の通り		8	9	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生産品目、市場、雇用問題、生産設備、技術レベル、原材料、投資需要、問題点、今後の見通し等をヒアリング</li> </ul>		
調査の手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>• MOI メンバーより基本的データ入手・調査のアプローチ把握</li> <li>• BKPM/JETRO/MOT/BANK INDONESIAより当業種の全体的な情報データ入手。及びFIELD調査へのアドバイス入手</li> <li>• NAFED/MOIより'93年計画及び実施案についてヒアリング。</li> <li>• 現地紙、ジャーナルで関連ニュース入手</li> <li>• 販売店舗・製造現場視察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 業界分析は主として工業統計及び企業等からのヒアリングに依った。</li> <li>• 輸出入実績については自ら貿易統計月表を拾って分析した。</li> </ul>		

収集の手順	日 付		ALUMINIUM DOWNSTREAM	ELECTRICAL MACHINERY	全体に関わるもの
	'89/3/30				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BANDUNG CERAMIC INSTITUTE (MOI)</li> <li>研究開発状況と政府の助成状況・業界の課題</li> <li>・ PT DANTO INDONESIA TILE</li> <li>タイル業界の状況及び同社の業容と今後の課題等</li> <li>・ PT SURYA TOTO</li> <li>SANITARY業界の状況及び同社の業容と今後の課題等</li> <li>・ BALI CERAMIC INSTITUTE (BPPT)</li> <li>研究開発状況と業界の課題及び政府・海外への要望事項等について</li> <li>・ TABLEWARE のトップ企業 PT. SANGO CERAMICS の訪問を MOI にアレンジ頼んだができなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PT ALUMINDO PERKASA</li> <li>ー 押出メーカー及び 100% 政府会社としての問題点につき情報収集</li> <li>ー 押出材加工部門に関する情報収集</li> <li>・ PT YKK ALUMICO INDONESIA</li> <li>押出メーカー業界の動向及び国内需要量に関する情報収集。</li> <li>・ PT ALUMINDO LIGHT METAL INDUSTRY</li> <li>圧延メーカーの技術レベルに関する情報を収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PT NIKKO CAHAYA ELECTRIC</li> <li>1) 量産化計画についての問題点につき情報収集</li> <li>・ PT TECO MULTIGUNA ELECTRO</li> <li>原材料の調達問題及び技術レベルに関する情報収集</li> <li>・ AVK</li> <li>原材料の調達問題及び輸出計画に関する情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BKPM 田中氏</li> <li>・ MOT 萬井氏</li> <li>・ MOI 桜井氏</li> <li>・ BANK INDONESIA</li> <li>・ BOT</li> <li>・ IBJ リース</li> <li>・ 商社(住商・伊藤忠)</li> <li>・ NAFED</li> <li>・ BPPT</li> <li>・ ジャパンクラブ</li> </ul>		
<p>1. TABLEWARE について以下参考にした。</p> <p>1) JICA/JETRO 委託の CIC 調査書 '88. 6. 15</p> <p>2) MOI より入手の REPORT '85. 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記により TABLEWARE 業界の概要を把握。</li> </ul> <p>2. 最近の業界状況については MOI 担当より資料入手</p> <p>3. TILE は PT DANTO の事務所 現地担当及び日本人役員(技術担当) にヒヤリング</p> <p>4. ニツの研究所より全体的な状況及び問題点などを聴取。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工業省より基本的データ入手・調査のアプローチ把握。</li> <li>・ 工業省より UNIDO の調査レポート入手。</li> <li>・ BPS の輸出及び輸入の統計資料の分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工業省より基本的データ入手・調査のアプローチ把握。</li> <li>・ BPS の輸出及び輸入統計資料の分析。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12月の予備調査の基本線に沿い二業種を含め品目の有望なものを MOI とまず打合せ上で具体的調査、訪問を開始。</li> <li>・ MOI に要求済データの督促と追加資料を要求。</li> <li>・ 平行して全体に関わる統計に関するデータ収集。</li> <li>・ 日系JV及び日本人駐在員よりもより現実的、正確な情報入手。</li> <li>・ 輸出振興に関わる現状計画に関し NAFED 等より情報入手。</li> </ul>		

1-4 調査日程

月 日	曜日	調査団メンバーの 出席者	訪 問 先 , そ の 他
2月13日	(月)	広瀬, 川口, 黒田	成田発 11:30(GA873) ジャカルタ着 16:25
14日	(火)	広瀬, 川口, 黒田	10:00
		〃	11:20~13:00 インドネシア工業省との全体会議
		〃	14:00~14:30 JETRO(北所長)
		〃	15:00~17:00 住友商事(プラスチック産業, 山田石橋氏)
15日	(水)	広瀬, 川口	9:00~10:30 MIN. OF TRADE (萬井氏)
		〃	11:30~12:15 BKPM (田中氏)
		黒田	9:30~11:30 東京銀行
		広瀬, 川口, 黒田	13:30~17:00 工業省との全体会議
16日	(木)	広瀬, 川口, 黒田	9:00~12:00 ナショナルゴーベル社 (関口氏)
			14:00~16:30 工業省担当者と個別打合せ
17日	(金)	広瀬, 川口, 黒田	9:00~11:00 JICA/日本大使館, 黒田 ANEKA SPRING
18日	(土)	広瀬, 黒田	9:00~11:00 工業省 工業データ分析室 桜井氏 アルミ産業(Mr. Toyib)
		川口	11:00~12:00 JAKARTA HANDICRAFT CENTER
		広瀬, 川口, 黒田	14:00~16:30 伊藤忠商事(プラスチック産業, 工藤氏)
19日	(日)	広瀬, 川口, 黒田	資 料 整 理

月 日	曜日	調査団メンバーの 出席者	訪 問 先 , そ の 他
2月20日	(月)	川口	9:00~15:00 工業省, 中小工業局, HANDICRAFT部/ 中央統計局
		広瀬, 黒田	10:00~12:00 PT. NIKKO CAHAYA ELECTRIC(遠藤氏)
		"	14:00~16:00 工業省アルミ産業(Mr. Hutagalung)
21日	(火)	川口	9:00~12:30 IETC (山本氏, 平山氏)
		広瀬	10:00~11:30 TECO MOLTIGUNA ELECTRIC
		"	12:30~15:00 AVK
		川口 黒田	14:00~15:30 BANK INDONESIA 病 院
22日	(水)	広瀬, 川口, 黒田	10:00~11:30 JICAへ中間報告
		広瀬, 黒田	13:00~15:00 工業省へ資料収集/バルハンプラス チック社
		川口	14:00~16:30 PT. DANTO事務所
23日	(木)	広瀬, 黒田	9:30~11:00 PT. ALUMINDO PERKASA
		"	13:00~14:30 PT. YKK ALUMICO INDONESIA
		川口	5:30~18:30 BANDUNG, CERAMIC RESEACH & DEVEL- OPMENT 研究所
24日	(金)	川口	9:00~15:00 PT. SURYA TOTO, PT. DANTO, 伊藤忠
		黒田	10:00~11:30 PT. BANDO
		"	14:30~15:30 PT. INOUE INDONESIA
		広瀬	9:00~11:00 工業省
		広瀬	14:00~16:30 PT. BASF INDOUESIA
		川口	ジャカルタ発→ バリ着
25日	(土)	広瀬, 黒田	10:30~11:30 JICA事務所
		"	ジャカルタ発→ バリ着

月 日	曜日	調査団メンバーの 出席者	訪 問 先 , そ の 他
2月25日	(土)	川口	9:00~16:30 工業省, BANK INDONESIA/DPS, BALI CERAMIC HANDICRAFT CENTER 研究所
26日	(日)	広瀬, 川口, 黒田 "	9:00~12:00 HANDICRAFT 見学・調査 バリ発 → スラバヤ着
27日	(月)	広瀬  川口, 黒田	9:00~12:00 P. T. ALUMINDO LIGHT METAL INDU -STRY 9:00~18:00 伊藤忠, PT. ABADI NYLON ROPE・FISH -ING NET MFG LTD., PT. KERTA RAJAS -ARAYA, PT. WIHARTA KARYA AGUNG
28日	(火)	広瀬, 川口, 黒田 広瀬, 黒田 川口 広瀬, 川口, 黒田	10:00~13:00 ダイマツ(石井氏) 15:00~16:00 ギリヌサハルン社(ヨハン氏) 14:30~15:30 BANK INDONESIA スラバヤ発 → ジャカルタ着
3月1日	(水)	広瀬, 黒田 "  川口  黒田	9:00~12:00 工業省にて資料の収集/ゴム協会ウ イリアム氏 15:00~16:00 工業省Mr. Djaniと明日の会議につい て打合せ 9:30~16:00 NAPED, BPPT, ASSOCIATION OF PLAST- IC WOVEN BAG. 15:30~17:00 ペルサハン社
2日	(水)	広瀬, 川口, 黒田 " "	9:00~12:00 工業省と個別打合せ 14:00~16:00 工業省との全体会議 18:00~19:00 JICA事務所へ報告

月 日	曜日	調査団メンバーの出席者	訪 問 先 , そ の 他
3月3日	(金)	広瀬, 川口, 黒田 川口, 黒田 広瀬 広瀬, 川口, 黒田	8:30~9:30 JICA北野所長へ報告 11:00~12:00 JETRO(小黒氏) 10:00~11:00 工業省にて資料収集 ジャカルタ発 23:00(GA872)
4日	(土)	広瀬, 川口, 黒田	成田着 8:00

## 2. 調査結果の総括

### 2-1 業種の優先順位

S/Wミッションの調印時に前述の通り、工業省と合意、決定したものである。

品目選定調査団は各業種の中で2品目の優先順位を正式に決定するため、あくまで次の通り下作業の調査活動を工業省のテクニカルコミッティメンバーと共に行った。

### 2-2 各業種の2品目選定作業

工業省の各担当及び日系J/Vさらに各種公的機関を訪問し、6業種の中で各々2品目を選定した。

基本的に、別項工業省との協議経緯にある通り、友好的な合議を通して合意事項を導いた。

日本側調査団が、データ情報の分析に基づく品目の選定(案)を提示し、工業省側が合意したというステップであった。

各業種品目の選定のため7つのSCREENING POINTSを定めて、最終的に定量的、定性的評価を考慮し、各担当者が判断基準として優(○)、良(△)、不可(×)を付けた。

日本語の総括表は9つのPOINTSを考察したが、これらの一覧表は、あくまで「見やすい参考総括表」である。実質的な評価選定の結果は工業省との協議作業を通して導かれたものである。

表Ⅲ-2 業種：ハンディクラフト／品目選定に関する評価表

'89.3.30 担当：川口

品目	輸出テンシャル	雇用吸収	技術レベル	国内原材料	投資需要	国際競争力	輸入代替	日本の産業要請	協力効果	優先順位の 評価決定理由	優先順位
FASHION ACCESSORY (PRECIOUS STONE / METALS, PEARLS)	○	○	△	○	△	△	×		○	資金関連の輸出計画は'88年312百万ドル、'93年938百万ドルと工業品全体の76%を占める。米国も"GIFTセミナー"などでインドネシアの装飾品を中心とするGIFT品の輸出を奨励しており、現状不足しているユーザー・エンドのデザイン開発、包装、国際販売力を強化すれば商業的な規模投資・協力で援助の効果を期待できる。 4-2-1参照	1
TRADITIONAL HANDICRAFT (WOODEN CRAFT, TEXTILE, etc.)	△	○	△	○	△	△	×		○	バリ、ジョグジャカルタを中心として、既存の技術水準が幅広く確立している。雇用吸収、地場産業の底上げ効果が期待できる。'87年生産高は2億4千万ドルで75%を占め、雇用では71%にもなる。流通上の販路においては、装飾品ルートとも不可分であり、国際的な商品開発により既存技術のレベルアップ、低廉なコストの活用を生かして輸出市場に貢献できる。 表3-1参照	2
SCREENING POINT: ○ 日本と比べても十分、又はそれ以上イ側の期待が大きい。 △ 条件次第で今後成長・育成できる。 × あまり期待できない	HANDICRAFT業界優先順位1位の理由： 就業促進が25～150万人と工業において最大で、既に国際的にも評価されているパティックのデザイナーや木彫り技術を中心に、幅広く技術水準が高まっている。 輸出実績で、'87年32.5百万ドル、'88年4億ドルを計画しており、'93年には12億ドル(非石油工業の6.8%)を計画し、国内の官・民合わせ輸出拡大を実施中である。										

表Ⅲ-3 業種: ゴム製品 / 品目選定に関わる評価表

品目	輸出ポテンシャル	雇用吸収	技術レベル	国内原材料	投資需要	国際競争力	輸入代替	日本の産業要請	協力効果	優先順位の 評価決定理由	優先順位
INDUSTRIAL RUBBER GOODS	○	労働染 約的 ○	△	原料の 生産量 世界2位	日本にとって 雄力的 ○	△		日本の進出 意欲大 可能性大	○	自動車産業、一般産業にとって金属、プラスチック及びゴムは三大重要素材である。その意味において本品目を第1位とした。	1
LATEX BASED RUBBER GOODS	即効性 あり ○	△	△	○	○	○			○	心付物はレーゾに次ぐ世界第2位の天然ゴム生産国である。この天然ゴムをラテックスとして有効活用することは、外貨獲得に即効性があるので高い優先順位を与えた。	2
RUBBER SHOES AND SANDALS	○	○	○	○	○	○			韓国台湾 が進出 ×	心付物の天然ゴムと安価な労働力をもっとも有効に活用しているのが韓国の産業であり、最大の雇用を吸収している。すでに多数の企業が進出するの為第3位にした。	3
TYRES AND TUBES	○	○	○	○	○	○			×	大企業による寡占体制下にあるので、政府ベースの振興対策の対象としては今後の評価をした。	4
RUBBER CLOTH	○	○	△	○	△	△			△	特殊な用途であり、市場が狭小なので劣後扱いとした。	5
SCREENING POINT:											
○ 日本と比べても十分、又はそれ以上イ側の期待が大き い。											
△ 条件次第で今後成長・育成 できる。											
× あまり期待できない											

表Ⅲ-4 業種：電気機器産業／品目選定に関わる評価表

89.3.30 担当：広瀬

品目	輸出ポテンシャル	雇用吸収	技術レベル	国内原材料	投資需要	国際競争力	輸入代替	日本産業要請	協力効果	優先順位 の 評価決定理由	優先順位
TRANSFORMERS (POWER & DISTRIBUTION)	○	△	◎	△	○	○			○	J/V 3社を含み合計9社が1400人余、'88年に470億ルピアの生産高でフル生産状態である。'88年1-10月に62万ドルの輸出があるが、その3倍余りを輸入している。輸出品単価は輸入品の半値であるが技術レベルも確立され、'88年は大幅に計画未達成だが、'93年計画580万ドルを目標とし、産業基盤が確立されており、他品目に比して最優位を決定した。	1
GENERATORS	△	△	△	△	○	△			△	構造及び部品の類似性故に、一品目としてまとめた。J/V 5社を含み26社1,300人余りの雇用者、84億ルピアの生産高である。輸出は16万ドル、輸入は115万ドルもあり輸出計画4百万ドルと輸入代替を旨とする部品の国産化強化を含め、基礎部品産業として優先的に育成されるべきで2番に選定した。	2
MOTORS	△	△	△	△	○	△			△		
KWH METERS	○	△	○	△	×	○			×	4社J/V含む9社で309億ルピアの生産高である。輸出輸入とも約1百万ドルあるが、'93輸出計画ではモーターとほぼ同額の360万ドルを目指す。現状、計画を下回っているが、技術も高く今後国際競争力も増大すると見られ3位とした。日系企業3社あり、投資需要は小さい。	3
GENERATOR SETS	×	△	×	△	○	×			△		
PANELS	△	○	△現在 ○数年後	△	×	△			△	パネルは28社1,500人で新規投資が完了し、'93年には7百万ドルの輸出を計画。今後は海外からの投資額打ちで4位グループとした。	4
WELDING EQUIPMENT	×	△	△	△	△	△			△	他の品目については産業規模が小さく、協力対象としても効果が少なく、4位グループとした。	
RECTIFIERS 整流器	×	○	×	△	○	×			△		

SCREENING POINT: ○ 日本と比べても十分、又はそれ以上イ側の期待が大きい △ 条件次第で今後成長・育成できる × あまり期待できない

表Ⅲ-5 業種: セラミックス/品目選定に関わる評価表

品目	輸出ポテンシャル	雇用吸収	技術レベル	国内原材料	投資需要	国際競争力	輸入代替	日本の産業要請	協力効果	優先順位の 評価決定理由	優先順位
TABLE WARE	○	○	△	○	△	△	○		○	認可件数も含むが25社12千人(1社平均480人)で6万トンの生産能力がある。'87年39万ドル、'88年1-3月は67万ドルの輸出。大手業者は輸出市場を築いており、上質品2百万ドルの輸入代替も実現したい。	1
CONSTRUCTION MATERIALS (WALL, FLOOR)	○	○	○	○	△	△	×	輸入に対し 保護的方針	○	認可ベースで24社8千人、生産能力は614千トン有。大手メーカーは生産の10-20%を輸出しており、'88年も急伸している。基礎的な技術もあり、輸出品としての開発力助成が必要である。	2
SANITARY	○	△	一社が カド △	○	△	△	×		△	一社がダントツに輸出実績を上げ、'87年390万ドル、'88年1-10月に700万ドルを輸出した。豊富な原材料と安い労賃(JAT比率10%)を使い、企業の経営力パートナーの援助次第で、国内外の潜在需要に対応して、産業規模を大きくできる。ニッソの政府研究機関がSANITARYとTILESの共通する技術向上・国際力の強化に指導力を期待されている。	2
INSULATOR	×	△	△	○	△	×	×			認可ベースで2社であり、国内中心の電力需要向けがほとんど故、今回の調査対象から外した。	4
SCREENING POINT:	○ 日本と比べても十分、又はそれ以上イ側の期待が大きい。 △ 条件次第で今後成長・育成できる。 × あまり期待できない										
CONSTRUCTION MATERIALS として TILES と SANITARY をグループとして品目の2番目にした理由: 2及び3項の根拠を参照願います。											

表Ⅲ-6 業種：プラスチック製品/品目選定に関する評価表

89.3.10 担当：黒田

品目	輸出ポテンシャル	雇用吸収	技術レベル	国内原材料	投資需要	国際競争力	輸入代替	日本の産業要請	協力効果	優先順位の評価決定理由	優先順位
PLASTIC INJECTION	○	○	△	×	日本において魅力的 ○	△		OEM生産基地化の可能性あり ○		自動車部品、電気電子部品等の近代的工業製品のパーツを構成する極めて重要な根幹となる産業の為最優先とした。工場数で第1位、従業者数でも第2位を占めている。	1
PLASTIC SHEETS, FILMS AND WOVEN BAGS	○	○	7777 トータル ○	×	△	○			△	カッター、VTR等、その他包装材としても用途が多い。又織りバックは、当国の伝統であるジュート産業を受け継ぐもので、最大の従業者数を誇るもので第2位。	2
PIPES AND TUBES	×	△	△	×	△	△			△	建設用、土木用、空調用あるいは産業用、自動車用品など用途は広い。企業数も相応のまとまりを見せているので第3位。	3
BOTTLING	△	△	○	×	△	△			△	すでに化粧品用、シャンプー用、薬用、飲料用としてかなり生産されているし、一応の技術レベルに達している。	4
PLASTIC MADE SHOES AND SANDALS	○	○	○	×	○	○			韓国台湾が主力 ×	靴やサンダル及びその部品として使用されているものがあるが、用途がはき物に限定されており、工場数、従業者数は5品目の中で最少。	5
SCREENING POINT:	<p>○ 日本と比べても十分、又はそれ以上イ側の期待が大きい。</p> <p>△ 条件次第で今後成長・育成できる。</p> <p>×</p>										

表Ⅲ-7 業種：アルミニウム産業／品目選定に関わる評価表

'89.3.30 担当：広瀬

品目	輸出ポテンシナル	雇用吸収	技術レベル	国内原材料	投資需要	国際競争力	輸入代替	日本の産業要請	協力効果	優先順位の 評価決定理由	優先順位
DIE CAST PRODUCTS (incl. LOW & HIGH PRESSURE CASTING)	×	○	×	○	○	×現在 ○援助後			○	工場は一社あり、別に内製化している大手メーカーも数社あるが統計上表れず、産業基盤が弱体である。現状の水準が低く、日本の協力効果を十分上げ得る品目である。自動車、電機機器などの広野産業として潜在成長があり協力効果が大きく1位とした。	1
ALUMINUM SHEETS SHEET FORMED PRODUCTS & FOILS	△	△	△	○	△	△現在			○	6社1,400人余りの雇用者が3万2千トンを生産。輸出は'87年850トンで、'91年の輸出計画750トンを超え、急成長している。技術も世界的レベルに達しており、外国の援助があれば協力効果を上げられる異質を示している。シートへの加工産業の規模は現状小さいが、自給できる国内原料を使い今後国際協力の強化が工業省よりも要請されている。以上より2位とした。	2
EXTRUDED PRODUCTS	○	△	○	○	×	○現在				11社2千人余り15,000トン生産の産業規模がある。約1,000トンを輸出し、'91年計画900トンは上方修正を要する。海外の技術協力も得て、技術レベルは確立しており、協力効果が低い点よりも3位とした。	3
SCREENING POINT: ○ 日本と比べても十分、又はそれ以上イ側の期待が大きい。 △ 条件次第で今後成長・育成できる。 × あまり期待できない											



## 各 論



## IV ハンディクラフト

### 1. 対象品目について討議の経緯

#### 1-1 調査チーム側の例示品目

2月14日、工業省との全体会議で当方より下記品目を例示した。

- 1) HAND-MADE TEXTILE
- 2) WOODEN WARE
- 3) PRECIOUS STONE
- 4) ACCESSORIES OF PRECIOUS METAL

#### 1-2 工業省側の例示品目と優先順位

例示品目は上記を合意し、以下の順位で優先度の希望があった。

- 1) HAND-MADE TEXTILE
- 2) JEWEL
- 3) HANDICRAFT MADE OF CERAMIC
- 4) WOODEN WARE

#### 1-3 3月2日工業省に対する、当方調査後の有望順位案として以下提案し、工業省サイドの合意も得た。

- 1) PRECIOUS METALS/STONES (FASHION ACCESSARY)

— JEWEL —

- 2) OTHER HANDICRAFTS

(HAND-MADE TEXTILE, WOODEN WARE, ORNAMENTAL GOODS)

理由 a. 貴金属、宝石関連装飾品は、国際的商品として開発すれば大きな市場を有する。輸出計画においては、'88年312百万ドル、'93年938百万ドルとHANDICRAFTの76%余を占めている。

b. 趣味の品、GIFT品として市場性が世界的に恒久的にある。

c. 他の商品は地場のデザインの色彩が強く、需要家の仕様・納期等への対応の面で時間が掛かる。

d. 2)グループとしてまとめた理由は販売上、不可分と解す。

e. 各品目毎に分けると業界市場規模が小さすぎる。

詳細は後述する。

### 2. 品目の定義

HANDICRAFT各品目は、他の工業的産業と異り、地場産業を基にした商業活動に依るところが大

きい。

品目としては、下記に分けられる。

## 2-1 FASHION ACCESSARY 装飾品

- JEWELRY 金銀細工
- PRECIOUS STONE
- PRECIOUS METAL
- PEARL HANDICRAFT

統計上ではFASHION ACCESSARY としては分類がないが、次の理由で今回の調査対象として包括した。

- 1) 装身具として、製造業者が近い関係にある。
- 2) 日本の民間企業の援助と投資の目的のためにも小分類としての産業（品目）としてまとめた方が良いと思う。販売面では同時に扱われる。
- 3) 国際的商品である金、銀をベースにした品目（製品）群である。

CCCN分類として以下分けられる。

		(千USドル \$)
		'88.1-10 輸出
ARTIFCLES OF JEWELRY	7112000	57,603
SILVER HANDICRAFTS	7113910	817
OTHER ARTICLES OF SILVER/GOLD	7113990	585
ARTICLES WITH PEARLS/stones	7115000	450
IMITATION JEWELRY	7116900	112
合 計		59,567

尚、TOILET ARTICLES OF PRECIOUS METAL 7113200は含まない。1,450 千ドル  
出所：BPS BULLETIN EXPORT '88・10号

## 2-2 OTHER TRADITIONAL HANDICRAFTS

以下の品目はいずれも大旨HANDICRAFT(ART) CENTER等に於て販売され、日本でもデパート、GIFT店、スーパー、趣味の店、民芸店で扱われる。

販売（流通）上は、似た様な特性を有すると解する。

但し、これを大口の商品として規格・開発・販売できるかは今後の扱う企業・製造者の手腕に関わる。

品目	CCCN	ISIC
HAND-MADE TEXTILE	59・09・100	
WOODEN WARE		
○ PAINTING FRAME	44・20・000	
○ SMALL BOX OF WOOD	44・21・100	
○ WOOD FOR HOUSE NEED	44・24・900	
○ TABLE LAMP	44・27・000	
CERAMICS OF HANDICRAFT	69・13・100	

1-3で述べた様に上記品目を個々に分けて、本格調査以降の日本の援助協力の対象とするこ  
とは産業構造規模として小さすぎて不相当と解す。依って、MOI及びJICAとの最終会議では、  
TRADITIONAL HANDICRAFTの内には、既に繊維産業が輸出・国内経済に大きく貢献しており、その  
関連産業としての“HAND-MADE TEXTILE”品目（'93年228百万ドルの輸出計画）と、豊富な木  
材資源と良質な木彫技術を生かし得る“WOODEN CRAFT”を調査の対象として選定することとした。

#### 2-3 インドネシア銀行の統計

主なる輸出品目の一つとして“HANDICRAFT”として分類している。

これにはWOODEN HANDICRAFTS/TEXTILE HANDICRAFTS PLAITED WARE/miscellaneous を含めてい  
る。輸出統計については後述する。

#### 2-4 MOIの統計分類

各産業の輸出目標額（表IV-1）の分類の中に“工芸・一般工業”として小工業部門に含まれ  
ている。

今回の対象品目以外とも思われる GOLD BARも含まれる。（輸出の項4.を参照）、このGOLD  
BARは金製品の可能性も大きく、今後関係先とも詳細な調査を要する。

#### 2-5 Batikを含む繊維製品等について

以上の政府統計の集約上で、“工芸・一般工業”に資本金70百万ルピア以下のHAND-MADE TE  
XTILE、又はHANDICRAFT MADE OF CERAMICSが含まれていると解す。資本金70百万ルピア以上  
の企業とその繊維製品は諸工業としての繊維工業に含まれている。

70百万ルピアで所轄局が分けられることはMOI、中小企業局Mr. BOSMARにより聞いたもの。

#### 2-6 インドネシア・ハンドブック'87版による品目

編物、竹細工、木彫品、貝細工、石細工、銀細工

表Ⅳ-1 '89年の工業製品輸出目標額

(単位 1000米ドル)

	88年予測	89年目標	増減%
諸工業	6,109,823.1	7,068,001.0	15.68
食料工業	423,730.0	468,601.9	10.59
繊維工業(小工業を除く)	1,167,600.0	1,392,713.3	19.28
化学工業	1,209,459.0	1,368,751.6	13.17
電気機器・金属工業	50,279.3	77,146.4	53.44
建築資材・一般工業	3,258,754.8	3,760,787.8	15.41
機械・基礎金属工業	644,235.9	706,445.0	9.66
基礎金属工業	534,991.2	575,762.0	7.62
機械工業	15,823.0	19,139.0	20.96
電気・エレクトロニクス工業	34,645.0	35,890.0	3.59
陸・空運機器工業	38,026.7	50,654.0	33.21
船舶工業	20,750.0	25,000.0	20.48
基礎化学工業	537,721.0	775,343.8	44.19
セルローズ・ゴム工業	219,891.0	341,200.0	55.17
アグロケミカル工業	157,040.0	219,864.0	40.01
有機化学工業	74,290.0	113,607.0	52.92
無機化学工業	86,500.0	100,672.8	16.38
小工業	800,000.0	968,000.0	21.00
食料工業	50,200.0	52,200.0	3.98
衣料・皮革工業	264,700.0	317,600.0	19.98
化学・建築資材工業	85,400.0	98,200.0	14.99
工芸・一般工業	399,700.0	500,000.0	25.09
小計	8,091,780.0	9,517,789.8	17.62
工業省外関連工業	708,220.0	815,870.0	15.20
合計	8,800,000.0	10,333,659.8	17.43

(出所) インドネシア通信

('88年11月25日BN誌) W

### 3. 対象品目の産業構造

MOI中小企業局Mr. BOSMARによる統計では概略以下の通り。

#### 3-1 会社数, 従業員, 生産高 1987年1-12月

品 目	会社数 (内 旧式)	従業員 (内 旧式)	生産高 (内 旧式) 百万RP
			USドル換算RP1700/ \$
1. PRECIOUS STONES	1,280 (1,235)	2.4 千人 (2.1千人)	9,274 (9,079) 5,455千ドル
2. ACCESSORIES OF PRECIOUS METALS	2,383 (2,231)	7.4 (6.3)	16,547 (12,277) 9,734
a) 小 計	3,663 (3,466)	9.8 千人 (8.4千人)	25,820 (21,356) 15,188
b) HAND MADE TEXTILES	41,594 (40,594)	159 千人 (143 千人)	351,334 (313,185) 206,667
c) WOODEN WARE	8,639 (8,345)	10.9 (4.7)	56,978 (11,983) 33,516
d) CERAMICS(HANDICRAFT)	21,341 (20,691)	60.3 (55.5)	104,073 (88,031) 61,219
a)~d) 合 計	75,237 (73,096)	239 千人 (212 千人)	538,204 (434,555) 316,591千ドル
インドネシア, ハンドブックによる '85年手工芸産業	477,700	1,367 千人	747,400 439,647千ドル

#### 3-2 分 析

- データの裏付けが必要だが, HANDMADE TEXTILEが先発産業として16万人で3,513億RP産業となっている。
- WOODEN WAREを除き, 伝統的(旧式といえる)工場が, 8割以上を占め, 近代化への育成の余地が極めて大きい。
- 旧式(伝統的)工場とは, MOIに登録された資本金10百万RP以下の会社。
- 前述の通り資本金70百万RP迄の企業が対象でこれを越えた企業は諸工業局(INDUSTRY ANEKA)に分類される。

表V-2 HANDICRAFT

Product Item	Number of Establishment			L a b o r			P r o d u c t V a l u e (000 Rp)		
	Modern	Traditional	Total	Modern	Traditional	Total	Modern	Traditional	Total
a. Hand Made Textile	1,000	40,594	41,594	15,986	143,288	159,274	38,149,245	313,185,135	351,334,380
b. Wooden Ware	294	8,345	8,639	6,136	4,682	10,818	44,994,536	11,982,988	56,977,524
c. Precious Stones	45	1,235	1,280	247	2,133	2,380	195,219	9,078,622	9,273,841
d. Accessories of Precious Metals	152	2,231	2,383	1,049	6,311	7,360	4,269,386	12,277,294	16,546,680
c+d	197	3,466	3,663	1,286	8,444	9,740	4,464,605	21,355,916	25,820,521
e. Ceramics (HANDICRAFT)	650	20,691	21,341	4,729	55,574	60,303	16,041,569	88,030,938	104,072,507
合 計	千 2	千 72	千社 74	千 27	千 212	千人 239	百万Rp 103,650	百万Rp 434,555	百万Rp 538,204

出所：MOI 中小企業局

- 参考に業種別に会社一社当り生産高を比較してみた。

	業種全体の 会社当り生産高	旧式工場 百万RP	近代的工場 百万RP	工場当り平均従業員	
				旧式	近代的
1. PRECIOUS STONES	@ 7.25	7.35	4.3	1.7人	5人
2. PRECIOUS METALS	5.3	5.50	28	2.8人	7人
a) 小計	7.05	6.16	22.7	2.7	6.5人
b) HANDMADE TEXTILES	8.45	7.7	38	3.5	16人
c) WOODEN WARE	6.60	1.43	153	0.6	21人
d) CERAMICS (HANDICRAFT)	4.88	4.25	24.7	2.7	7人
a) ~ d) 合計	7.15	5.94	48.4		

- 近代化に伴い、一工場当り生産高は大巾に向上している。  
PRECIOUS STONES の場合、昨年度新設の近代的工場もあり、生産高に寄与しなかったものと推測する。
- 旧式又は資本金1.0百万RP(77万円)以上の“近代的”分類に属する工場とはいえ、いづれも家内工業的規模の単位である。  
それ故、日本のレベルでの近代化奨励には全くほど遠い。

#### 4. 輸出

##### 4-1 REPELITA V 計画

HANDICRAFT	FOB 百万USドル						年率成長 (%)
	1988	'89	'90	'91	'92	'93	
18. WEARING PRODUCTS	70.2	81.2	101.9	132	171.5	227.6	26.7
19. PEARL HANDICRAFT	3.9	4.4	5.1	6.7	8.5	10.9	23
20. GOLD PRODUCTS	255.3	326.4	405.9	504.3	620	768.8	24.7
21. JEWELRY/PRECIOUS METAL	50.6	60.3	70.8	89.7	115.1	148.8	24.2
22. SILVER HANDICRAFT	3	3.8	4.8	6.1	7.9	10.1	27.5
19~22 小計	312.8 (78.3%)	476.1 (95.2%)				938.6 (76.8%)	
23. STATUES/ORNAMENTS	6.5	8.2	10.2	12.7	15.8	19.8	25
24. OTHER HANDICRAFTS	10.2	15.7	23.8	28.5	32.3	35.8	29.9
合計	399.7	500	622.5	780	971.1	1,221.6	25
小工業(※)	800	968	1,170	1,435	1,733	2,127	21.6
HANDICRAFTの比率(%)	50	51.7	53.2	54.3	56	57.4	
非石油工業品	8,800	10,300				18,000	
HANDICRAFTの比率(%)	4.5	4.9				6.8	

出所: MOI

20. GOLD PRODUCTS(EMAS BATANGAN)の品目の内容と業界の実情について詳細チェックを要する。

##### 4-2 輸出実績 (表IV-3 参照)

4-2-1 1983年57百万ドルだったが、1987年には325百万ドルと5倍となった。

この内TEXTILEが66%で214百万ドルであったが、年々占める割合が小さくなっている。5ヶ年計画との突合必要である。(恐らく繊維手工芸品は計画作成時に比べ、実績を大きく上げ得た産業であったと思う)

FASHION ACCESSARY はその他HANDICRAFTとして包含されているが、'87年度は40百万ドルであった。量では前年比325%。

仕向国別では米国向がトップで109百万ドル、日本が2番で60百万ドル(前年比124%)と今後の増加が期待される。米国・日本及びシンガポール・香港の上位4ヶ国で70%を占めている。

尚、米国はGIFT品目を世界から40億ドル輸入する大消費国である。

4-2-2 MOI 中小企業局より'88年1-9月輸出実績下記(表IV-4)を入手したが, 中小企業局のみに関わる統計の様で他の統計とも比較し再チェックを要する。

HANDMADE TEXTILE	59千ドル
WOODEN WARE	4,407
PRECIOUS METALS	2,377
PRECIOUS STONES	701
CERAMICS (HANDICRAFT)	311
合 計	7,855

表IV-4

Volume of export	FOB Value. (000US \$) (January-September '88)	
a. Hand made Textile:		
. CCCN 50.09.100	59,0	
b. Wooden Ware:		
. CCCN 44.20.000 (Binqkai kayu untuk Lukisan)	1.100,2	
. CCCN 44.21.100 (peti, tong, Tahang)	1.097,0	
. CCCN 44.24.900 (Bag. Kayu untuk keperluan RT/dapur) WOOD for house daily need	252,3	
. CCCN 44.27.000 (Lampu duduk/meja dan perlengkapan dr kayu)		b. 小 計
	1.957,5	4.407,0
c. Precious Stones :		
. CCCN 71.03.900	700,7	
d. Accessories precious metals :		c. d 小 計
. CCCN 71.13.110 s/d 990	2.377,4	3.078,0
e. Ceramics:		
. CCCN 69.13.100 s/d 900	310,7	
合 計		7.854,8

表IV-3

## 表IV-3 - I INDONESIA EXPORTS OF HANDICRAFT BY COUNTRY OF DESTINATION

Commodities	1983		1984		1985		1986		1987		1987/86		
	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	
1. Wood carving	8,266	9,724	8,745	9,724	14,045	9,724	15,933	21,253	23,261	21,253	23,261	+ 118.6	+ 46.0
2. Craft textile	16,980	33,777	46,644	33,777	177,484	33,777	243,993	25,136	214,228	25,136	214,228	- 25.6	- 12.2
3. Plaited ware	8,577	3,960	9,652	3,960	13,256	3,960	19,111	8,256	46,971	8,256	46,971	+ 108.7	+ 145.8
4. Miscellaneous craft	23,834	9,202	27,794	9,202	40,122	9,202	58,798	39,117	40,074	39,117	40,074	+ 325.1	- 31.8
Total	57,617	56,663	92,835	56,663	244,907	56,663	337,835	93,772	324,534	93,772	324,534	+ 65.5	- 3.9
Country of Destination	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	
1. Singapore	8,608	15,636	23,805	15,636	33,283	15,636	57,489	13,347	38,152	13,347	38,152	- 14.6	- 33.6
2. Japan	13,411	6,117	18,871	6,117	21,536	6,117	26,914	19,875	60,329	19,875	60,329	+ 224.9	+ 124.2
3. Australia	1,050	1,541	2,309	1,541	5,021	1,541	5,855	3,144	8,491	3,144	8,491	+ 104.0	+ 45.0
4. U.S.A	3,535	10,060	7,813	10,060	77,821	10,060	90,237	11,401	109,371	11,401	109,371	+ 13.3	+ 21.2
5. Netherlands	347	693	297	693	4,138	693	4,692	1,037	7,596	1,037	7,596	+ 49.6	+ 61.9
6. R.F.Germany	1,187	1,323	1,202	1,323	5,000	1,323	6,568	989	7,218	989	7,218	- 25.2	+ 9.9
7. France	353	186	180	186	833	186	1,274	818	3,419	818	3,419	+ 339.8	+ 168.4
8. United Kingdom	16,431	329	7,300	329	7,519	329	33,933	1,406	5,270	1,406	5,270	+ 327.4	- 84.5
9. Italy	132	313	380	313	798	313	1,465	384	3,057	384	3,057	+ 22.7	+ 108.7
10. Hongkong	2,172	4,607	4,705	4,607	12,091	4,607	24,525	4,338	19,471	4,338	19,471	- 5.8	- 20.6
11. Canada	236	532	296	532	3,839	532	3,281	1,274	4,541	1,274	4,541	+ 139.5	+ 38.4
12. Saudi Arabia	-	1,330	7,998	1,330	8,610	1,330	6,736	4,381	10,089	4,381	10,089	+ 229.4	+ 49.8
13. Thailand	-	2,407	7,602	2,407	20,232	2,407	21,298	811	2,709	811	2,709	- 66.3	- 87.3
14. Taiwan	-	2,634	296	2,634	567	2,634	6,444	8,137	5,887	8,137	5,887	+ 208.9	- 8.6
15. New Zealand	-	197	297	197	462	197	807	503	1,908	503	1,908	+ 155.3	+ 136.4

出所：NAPED

INDONESIAN EXPORTS TO JAPAN BY COMMODITY

1983 - 1987

Quantity: 000 Kg.  
Value : 000 US\$

Commodities	1983		1984		1985		1986		1987		% of Change 1987/86	
	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity
1. Shrimps and fish	187,064		180,471		188,776	38,480	250,169	49,735	309,275	29.2	309,275	29.2
2. Animal feed	18,983		33,318		15,106	289,273	16,361	845,762	20,018	28.4	20,018	28.4
3. Coffee	75,886		112,961		111,424	45,175	184,837	63,571	128,860	40.7	128,860	40.7
4. Tea	102		102,424		161	42	96	107	231	154.8	231	154.8
5. Pepper	802		1,138		2,098	2,053	10,677	4,001	20,676	94.9	20,676	94.9
6. Other spices	742		4,212		879	172	785	805	1,088	368.0	1,088	368.0
7. Fruit and seed oil	2,688		2,338		1,090	14,570	2,544	11,744	1,171	20.4	1,171	20.4
8. Rattan	1,296		1,258		1,587	722	1,707	538	1,227	28.5	1,227	28.5
9. Seaweed and illes-iles	1,977		4,837		387	387	8,833	378	316	2.3	316	2.3
10. Fixed vegetable oils	5,610		5,389		4,834	7,905	8,833	7,505	2,321	5.1	2,321	5.1
11. Foodstuffs	15		542		2,067	17	26	37	6,656	95.7	6,656	95.7
12. Tobacco	404		854		1,070	600	1,303	613	1,246	2.2	1,246	2.2
13. Cocoa	111,758		105,668		115,537	275,218	157,704	221,267	140,503	20.6	140,503	20.6
14. Copper. ore. conct.	184,115		123,645		123,645	972,426	109,679	892,513	14,948	8.2	14,948	8.2
15. Nickel	142,638		219,796		228,796	684,364	183,020	484,000	6,069	29.3	6,069	29.3
16. Aluminium	987		544		—	—	—	5,000	45	—	45	—
17. Manganese and conct.	369		823		1,134	—	—	—	—	—	—	—
18. Tin	813		2,050		1,237	378	1,819	163	1,540	56.9	1,540	56.9
19. Essential oils	35,614		32,297		20,007	28,429	22,032	32,754	82,167	15.2	82,167	15.2
20. Rubber	2,312		1,707		2,009	198	1,828	357	5,037	80.3	5,037	80.3
21. Hides and skins	14,402		2,639		9,913	1,846	8,785	3,513	16,476	90.7	16,476	90.7
22. Textile and garments	264,751		287,367		161,678	911,895	228,474	1,819,531	658,279	99.5	658,279	99.5
23. Timber & timber products	6,461		7,247		17,113	2,431	15,338	12,608	88,607	418.6	88,607	418.6
24. Handicraft	—		—		—	—	—	—	—	—	—	—
25. Mineral product	40		87		45	75	—	80,542	2,635	37.6	2,635	37.6
26. Perfumery & cosmetics	1,153		689		2,074	138,519	29,478	151	181	101.3	181	101.3
27. Sponge iron and steel	985		1,093		2,074	54,925	4,114	411,599	98,742	197.1	98,742	197.1
28. Urea	58		1,036		525	2,988	1,038	470,016	4,580	15.4	4,580	15.4
29. Glass & glass ware	2,466		3,870		1,847	2,017	1,001	11,722	4,036	292.3	4,036	292.3
30. Fatty acid & ACID oil	2,358		7,985		—	—	1,001	3,892	1,938	58.2	1,938	58.2
31. Coal	637		741		212	7	2	304,962	8,198	—	8,198	—
32. Parcel goods	17,937		132,823		27,235	144,777	38,529	85,595	304,927	71.4	304,927	71.4
33. Other	—		—		—	—	—	—	—	40.9	—	40.9
SUB-TOTAL	1,035,996		1,284,066		1,044,123	3,871,589	1,252,385	5,336,672	1,882,303	38.0	1,882,303	38.0
34. PETROLEUM & GASES	8,642,240		9,068,472		7,549,399	40,203,250	5,391,713	41,945,112	5,511,009	4.3	5,511,009	4.3
T O T A L	9,678,236		10,352,538		8,593,522	44,074,839	6,644,098	47,281,784	7,393,313	7.3	7,393,313	7.3

TH/RS

Source: Central Bureau of Statistic

(CENTIMA, NAFED)

INDONESIAN EXPORTS TO U.S.A. BY COMMODITY

1983 — 1987

Commodities	1983		1984		1985		1986		1987		Quantity, 1987/86		Quantity: 000 Kg. Value : 000 US\$
	Value	Value	Value	Value	Value	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	Quantity	Value	
Petroleum & Gases	3,394,830.0	3,290,888	2,859,630	15,706,954	1,605,615	12,845,405	1,687,914	18.22	+	5.12			
Non-Petroleum & Cases	871,828.0	1,213,885	1,980,539	1,428,475	1,295,845	1,865,635	1,660,803	30.60	+	28.16			
1. Fish	766.8	669	309	587	1,282	587	1,078	0.00	+	15.91			
2. Shrimps	2,322.6	3,655	3,176	546	4,170	1,091	8,373	99.82	+	100.79			
3. Coffee	141,485.6	163,832	158,381	64,594	176,075	55,131	97,037	14.65	-	44.89			
4. Tea	15,681.2	38,978	19,306	15,601	18,298	9,887	11,252	36.63	-	38.47			
5. Pepper	23,376.8	32,521	33,715	10,554	48,811	10,782	53,671	2.16	+	9.96			
6. Other spices	14,981.2	12,311	21,489	12,967	28,664	11,459	34,263	11.63	+	19.53			
7. Rattan	1,907.5	1,139	701	210	769	189	922	10.00	+	19.89			
8. Palm oil	1,257.0	2,181	3,759	15,472	3,484	5,000	1,350	67.68	+	61.25			
9. Coconut oil	-	29,333	24,651	15,548	3,219	37,733	16,960	6785.58	+	7644.29			
10. Palm kernel oil	-	2,174	12,910	15,232	3,347	11,501	4,276	24.49	+	27.76			
11. Fatty acid	5,674.5	6,424	6,828	10,437	3,378	21,116	5,983	102.32	+	75.64			
12. Cocoa beans	1,130.0	1,061	1,308	2,808	5,265	811	1,412	71.12	+	73.18			
13. Foodstuffs	6,190.9	9,559	8,476	7,007	8,497	12,681	12,180	80.98	+	43.34			
14. Tobacco	5,650.4	5,869	4,293	2,215	4,864	2,911	4,748	31.42	+	2.38			
15. Quinine & its derivatives	603.8	485	1,334	-	-	34	2,054	-	-	-			
16. Essential oils	7,300.2	4,837	5,808	976	11,767	1,037	12,994	6.25	+	10.00			
17. Rubber	356,527.7	446,058	337,562	448,596	335,699	498,723	441,216	11.18	+	31.43			
18. Hides and skins	923.1	1,814	524	2	62	-	-	100.00	+	100.00			
19. Leather & leather product	989.3	1,745	1,509	-	-	41	2,239	-	-	-			
20. Timber	9,969.3	8,536	10,037	60,433	22,940	31,749	12,845	47.47	-	44.01			
21. Plywood	158,969.2	179,352	251,072	587,149	262,885	722,916	384,345	23.12	+	46.20			
22. Furniture	759.1	911	1,806	1,683	2,592	1,721	3,010	3.48	+	16.12			
23. Textile and garment	100,994.8	231,762	234,937	39,403	312,545	44,857	390,923	13.84	+	25.08			
24. Footwear	665.5	197	214	90	847	167	1,907	85.56	+	125.15			
25. Handicraft	2,357.9	13,740	26,926	1,647	9,139	1,191	5,874	27.69	+	35.73			
26. Parts of aircraft or machinery	-	2,095	127	278	1,901	107	557	61.51	-	70.70			
27. Iron and steel	-	-	860	53,790	14,134	223,119	60,727	314.80	+	329.65			
28. Aluminium	-	-	12	137	506	67,860	847	49432.85	+	57.39			
29. Glass	-	-	88	1,106	606	1,616	789	46.11	+	30.20			
30. Others	12,336.6	12,604	806,450	74,427	13,109	89,613	87,021	20.40	+	563.83			
T O T A L	4,266,658.0	4,504,693	4,040,169	17,135,429	2,901,460	14,711,040	3,348,717	14.15	+	15.41			

(CENTIMA, NAPE)

Source: Central Bureau of Statistics

TH/RS

4-2-3 インドネシア銀行の統計

Export "STATISTIK EKONOMI" '89/JAN, BANK INDONESIA

HANDICRAFT(KERAJINAN TANGAN)				WEEKLY REPORT
	Mil US \$	単 価	数 量	( '89/2/9 p57による)
1984	512	@US \$ 474/KG	1,080 Ton	106 百万ドル
85	596	461	1,293	141
86	858	394	2,180	175
87	1148	484	2,370	238
88, 1-7	749	526	1,424	219

紛らわしい統計数字であるが、中央銀行資料表IV-6によると上記の様に推移している。  
内容をチェックできなかったが、明らかに "HANDICRAFT" と明示してあるものの、恐らく衣料（工業）製品及び皮革も含む数字と思われる。

<参考>

A.

(BANK INDONESIA 'WEEKLY REPORT' 89/2/9) IMPORT PRECIOUS METALS/STONES	MOTによる EXPORT OF JEWELRY OF	GOLD, SILVER PLATINUM
1984	16 M \$	7,515 千ドル
85	3	7,005
86	4.3	35,501
87	1.2	3,890
88, 1-10	40.9	

B.

IND, DEVELOPMENT NEWS '89/JAN-FEB  
 • Jewelry-P. T. Indonesia Gems Industry(\$1.6 million): A joint venture between Cheng Hwa Jewel Co. Ltd. of Taiwan and P. T. Saudara Kita Rukun of Indonesia, the company will manufacture jewelry in Bekasi, West Java. Trial production is scheduled to begin in October 1989, with commercial operation in January 1990. The company's projected annual output will include 72,000 bracelets and 720,000 beads with, 95 percent of the output intended for export.

8c-NILAI EKSPOR DI LUAR MINYAK BUMI DAN GAS ALAM CAIR (lanjutan)

VALUE OF NON-OIL/LNG EXPORTS(continued)

(Dalam ribuan US\$/in thousands of US\$)

	Bahan Makanan		Tekstil dan Kerajinan		Rempah-rempah			Bungkil Alat-alat			Semen	Lainnya	Jumlah Total
	Tembakau	Foodstuff	Hasil-hasilnya	Tangan	Spices	Kopra	Listrik	Pupuk	Cement	Others			
	Tobacco	Tapioca	Others	Products	Handicraft	Rattan	Lada	Pepper	Lainnya	Others	Others	Others	Total
			(A)	(A)/(B)									
1977	61.131	11.298	48.833	2.769	8.088	18.167	65.554	31.526	39.981	120.481	3.511.218	1977	
1978	59.281	16.758	59.863	24.183	10.480	26.687	69.820	33.401	32.249	131.883	3.659.110	1978	
1979	60.300	68.391	77.241	59.103	57.826	82.659	47.307	63.683	42.285	202.210	5.579.077	1979	
1980	68.139	36.460	96.111	128.409	17.919	0.3%	51.652	86.060	31.070	389.328	3.078.386	1980	
1981	52.140	19.656	78.053	87.404	45.635	80.989	46.841	67.457	9.337	16.916	4.431.940	1981	
1982	39.164	14.791	52.550	153.319	21.613	84.735	46.745	104.391	21.546	17.876	3.878.197	1982	
1983	47.556	27.550	79.006	235.945	57.664	85.681	52.306	118.473	40.064	7.387	4.992.960	1983	
1984	44.629	28.587	101.469	405.395	106.356	88.100	64.919	141.390	36.931	12.239	5.775.986	1984	
1985	45.079	44.830	123.450	454.044	141.303	88.814	77.933	141.390	81.671	21.024	5.983.292	1985	
1986	72.320	49.241	94.523	682.613	175.425	96.120	139.611	84.750	122.937	40.690	5.626.001	1986	
1987	67.486	90.518	93.307	895.885	238.366	146.669	148.693	36.350	92.476	51.841	8.518.785	1987	
Triw-I	22.811	8.521	20.579	176.355	47.040	22.122	28.802	9.905	5.974	14.812	1.736.760	Triw-I	
Triw-II	16.091	3.806	17.596	211.196	56.898	32.034	27.032	5.897	1.144	12.491	323.387	Triw-II	
Triw-III	13.590	26.504	24.354	229.644	57.158	43.598	51.373	8.506	1.442	12.559	348.412	Triw-III	
Triw-IV	14.994	49.687	30.878	278.690	27.270	48.915	41.486	12.402	1.799	12.779	480.126	Triw-IV	
1988**	45.201	41.262	72.389	654.654	218.687	55.258	80.226	25.191	6.845	38.552	6.358.468	1988**	
Januari	11.425	5.513	8.944	84.834	30.536	10.978	12.769	4.250	865	6.111	925.548	January	
Februari	3.765	2.431	8.453	84.244	30.160	12.847	12.990	4.746	6.507	4.940	126.092	February	
Maret	7.028	2.801	12.758	90.577	32.277	13.696	11.918	5.292	8.339	4.905	889.832	March	
April	2.558	3.508	8.364	94.437	34.146	5.767	7.937	2.374	2.940	4.768	146.505	April	
Mai	12.176	7.532	9.629	83.844	28.239	3.265	7.362	2.595	15.520	5.509	819.757	May	
Juni	3.564	4.761	10.670	128.008	32.571	3.944	10.031	2.223	12.925	5.111	166.943	June	
Juli	4.685	14.716	13.371	88.710	30.758	4.761	17.219	3.771	12.787	7.608	183.369	July	

i) Termasuk pakaian jadi.

\*) Angka-angka sementara.

\*\*\*) Angka-angka belum lengkap.

i) Including garment.

\*) Provisional figures.

\*\*) Incomplete figures.

表IV-6

Nilai Ekspor menurut Jenis Barang tanpa Minyak dan Timah(Lanjutan)

	1984		1985		1986		1987*		1988*		1987*		1987*
													Aug.
					(1-7)		I	II	III	IV	I	Jul.	
(Dalam ribuan US\$)													
Minyak eteris	29.391	23.218	27.552	33.213	19.048	7.048	8.213	9.597	8.355	7.513	3.371	3.219	3.219
Bunga dan biji pala	14.755	16.134	27.814	45.621	19.359	9.534	6.782	11.483	17.822	8.605	212	8.607	8.607
Kayu	1.173.481	1.210.250	1.418.737	2.265.330	1.473.618	477.244	510.935	608.148	669.093	674.425	184.627	178.213	178.213
Kopal	2.870	3.079	2.481	3.741	1.867	929	911	785	1.116	1.028	212	318	318
Damar	752	365	491	615	392	126	140	158	191	160	39	55	55
Kulit kerang	4.417	5.027	7.270	10.225	5.617	2.162	2.480	2.348	3.235	3.359	983	710	710
Batu bara	25.734	32.494	29.623	24.671	17.208	5.598	4.933	6.272	7.868	8.165	3.367	1.482	1.482
Minyak gemuk	64.360	107.040	19.090	66.579	56.052	6.860	11.993	15.229	32.497	27.351	3.882	6.124	6.124
Hewan dan hasil peternakan	231.000	2.344.746	347.509	449.365	328.585	112.792	103.039	115.324	118.210	130.194	46.114	38.142	38.142
Rempah-rempah lainnya	33.844	32.710	45.320	47.651	23.640	10.422	14.107	12.079	11.043	10.660	4.198	3.025	3.025
Bahan makanan lainnya	101.469	123.477	94.523	93.539	65.902	20.588	17.696	24.441	30.814	29.276	7.400	8.705	8.705
Serat	738	850	904	832	544	216	251	191	174	239	69	90	90
Bahan-bahan pewarna	14.530	10.438	14.768	12.130	9.926	2.026	2.787	3.541	3.776	3.988	1.221	1.208	1.208
Bahan penganyam	--	4	2	102	222	--	6	33	63	198	3	4	4
Barang-barang tambang	453.740	522.204	505.244	529.420	379.907	108.285	124.534	126.538	170.063	180.428	42.943	41.557	41.557
①Kerajinan tangan(HANDICRAFT)	511.738	595.801	858.133	1.143.029	749.489	223.636	268.639	291.548	364.206	330.672	93.381	93.153	93.153
Bahan sedap-sedapan	52.873	64.021	60.963	65.721	33.134	12.742	17.116	18.616	17.245	18.172	6.361	6.543	6.543
Bahan obat-obatan	36.939	33.509	15.594	16.572	16.776	5.114	3.262	3.379	4.817	5.923	771	1.023	1.023
Lainnya	599.848	620.932	725.139	1.117.775	761.423	189.575	221.669	297.074	409.457	312.418	88.192	101.808	101.808
Jumlah golongan B	3.791.291	4.127.990	4.580.612	6.421.022	4.234.330	1.281.849	1.406.470	1.685.689	2.047.014	1.892.363	524.261	547.253	547.253
Jumlah golongan A + B	5.513.252	5.737.134	6.455.375	8.309.693	5.435.784	1.704.973	1.811.149	2.211.451	2.582.120	2.414.733	692.855	711.161	711.161

Catatan: Atas dasar Pemberitahuan Ekspor Barang(PEB).

\*)Angka-angka sementara.

Value of Exports by Commodities excluding Oil and Tin(Con. d)

Sep.	1987*										1988*																					
	Oct.	Nov.	Dec.	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May.	Jun.	Jul.	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May.	Jun.	Jul.										
3.007	2.786	3.007	2.562	1.937	2.712	2.864	2.126	3.373	4.048	1.988	(In thousands of US\$)																					
2.664	8.846	1.137	8.039	545	4.141	3.919	3.891	1.207	2.975	2.681	Essential oil	245.308	220.735	214.186	234.082	236.836	22.009	215.498	238.170	189.571	230.581	140.871	Mace and nutmeg									
255	326	471	319	394	285	349	189	188	304	158	Lumber	64	52	121	18	69	31	60	71	30	93	38	Copal									
655	1.357	734	1.144	1.363	1.143	833	802	639	675	92	Resin	1.423	3.638	2.049	2.181	2.397	2.573	3.195	2.446	2.769	2.790	1.088	Clam shell									
5.223	9.624	11.920	10.953	9.600	8.260	9.491	5.159	8.663	8.961	5.918	Coal	31.068	40.647	42.814	34.749	41.703	33.511	54.960	49.245	43.391	48.622	57.133	Lubricating oil									
4.853	3.257	3.626	4.160	3.336	3.052	4.272	2.852	3.102	3.824	3.202	Animal and products of animal husbandry	8.336	8.868	9.462	12.484	8.934	8.435	11.907	8.464	8.670	9.544	9.948	Other spices									
32	49	50	75	76	80	83	108	40	84	73	Other foodstuffs	1.112	1.637	1.067	1.072	1.130	1.289	1.569	1.543	1.560	1.611	1.224	Hard cordage fibres									
42.038	67.123	54.597	48.343	39.694	71.825	68.906	42.302	64.688	34.629	57.863	Colouring materials	105.014	117.117	108.571	133.571	109.572	107.056	114.044	114.728	97.959	134.142	71.988	Weaving materials									
5.712	5.097	5.766	6.382	5.917	5.780	6.475	4.175	4.508	3.525	2.754	Mining products	1.585	2.126	1.310	1.361	3.020	1.909	984	3.169	5.429	1.162	1.093	Essence									
107.074	144.889	123.962	140.606	104.902	97.979	117.540	110.860	97.328	125.371	115.448	Medical herbs	614.175	707.421	636.194	703.399	614.805	620.099	657.459	626.477	566.687	644.645	504.208	Others									
807.435	869.009	805.749	907.362	777.287	794.975	842.471	802.292	739.394	856.908	622.467	Total category B	5.712	5.097	5.766	6.382	5.917	5.780	6.475	4.175	4.508	3.525	2.754	Total category A+B									

Note: Based on (PEB) form.

\* ) Provisional figures.

## 5. ASSOCIATION

5-1 MOI 中小企業局の主管に関わる団体等は、添付明細の通り 8 団体があると考えられる。

表IV-7

5-2 HANDICRAFT に関わる主要なCENTER, 店舗等別表の通り 表IV-8

5-3 今回、唯一QUESTIONARE の解答を得た( PT CITRA DAYA BUNDA が経営)は、JETRO, NAFED に加入している。

5-4 輸出実績のある主要な企業はNAFEDを主管として世界各国で国際見本市, GIFT SEMINARに参加している。その際、ASEAN CENTERも日本等における受入れ機関として指導的機能を果たしている。

表IV--7 DAFTAR ASOSIASI HANDICRAFT(INDUSTRY KECIL)

<b>I. Dit. Kerajinan.</b>	
1. Asosiasi Moluska Indonesia(AMI)	: Gelanggang Samudra Ancol. Jl. Lodan Timur Jakarta Utara.
2. Asosiasi Batu Permata dan batu Mulia Indonesia. (Precious Stone)	: Jl. Teuku Umar No. 53 Jakarta Pusat.
3. Asosiasi Aneke keramik Indonesia(ASAKI) (Ceramic)	: Jl. KH. Zainul Ariffin No. 61 d/h Jl. Ketapang Jakarta Barat.
4. Asosiasi Pengusaha Rotan Indonesia(APRI) (Rattan)	: CTC Building PT. Panca Niaga Jl. Kramat Raya 94-96 Jakarta Pusat.
5. Dewan Koperasi Industri Kerajinan (Handicraft Cooperative)	: Jl. Veteran III/7A Jakarta pusat.
6. PT. Keramik Indonesia Asosiasi atau PT. Indoporlem	: Jl. Mangga Besar Raya 42F/G. Jak. Barat. Jl. Kopi 34 Jakarta Barat.
7. PT. Crystal Mandiri Indonesia(Utama Kayo)	: Wisma Bumi Putera Lt. 17. Jl. Jend. Sudirman Kav. 75 Jak. Sel.
8. Asosiasi Pedagang Emas dan Permata Indonesia DKI Jaya(APEPI) (Jewelry)	: Sekretariat : Gajah Mada Plaza Lantai dasar Toko Mas Internasional Jl. KH. Zainul Ariffin (Ketapang)No. 7p.
9. Asosiasi Eksportir & Produsen Handicraft (ASEPHI). (Exportir and producer of Handicraft)	: Pindah Alamat.
10. Asosiasi Perajin Bunga Kering & Bunga Batan(ASPERINGTA) (Artificial & dry flower)	: Penasehat : Jl. Mahoni No. 30 Rt. 05/08 Jakarta Pusat. Ketua : Jl. Hang Lekir VII/14 Rt. 06/06 Kel. Gunung Jakarta Selatan.
11. Asosiasi Eksportir Hasil Kerajinan Indonesia(ABHKT)(exporter of Batan(ASPERINGTA))	: Ketua : Sebastian Tanamas.
12. Asosiasi Exporteur & Produsen Handicraft Indonesia(ASEPHI)	: d/a PT. Sarinah Jaya Jl. Rawa Terate 11/2 Kawasan Industri Pulo Gadung.
13. Asosiasi Pusat Pertokoan & Perbelanjaan (AP3I). Supermarket & Dept. Store	: Pasar Baru Plaza No. 41/43 Lt. III
14. Asosiasi Pengusaha Industri Cendana (Sandal wood)	: Jl. Jend. Sudirman No. 5 Kupang. Nusa Tenggara Timur.
<b>II. Dit. K. B. B.</b>	
1. Indoseta - Minyak Asiri	: Jl. Angkasa/Garuda. Jakarta Pusat.
2. Asosiasi Pengawetan Kayu Indonesia(ASPINDO)	
3. Asmindo	: Gedung Manggala Wanabakti Senyan. Dept. Kehutanan.
<b>III. Dit. angan.</b>	
1. Association Tempe Entrepreneurs(HPTI)	: Jl. Pramuka No. 41 Jakarta Pusat.
2. Association Kecap Indonesia(ASIKIN)	: Jl. Daan Mogot Km. 12 Jakarta Barat.
<b>IV. Dit. ogam.</b>	
1. Asosiasi Perbengkelan dan Permesinan (ASPEP)	: Jl. Batu No. 1. Jakarta
2. ABE(Asosiasi Bengkel Elektronika)	: Jl. Persada Raya No. 5. Jaarta
<b>V. Dit. Sandang &amp; Kulit.</b>	
1. Asosiasi Exportir Perkulitan Indonesia	: Jl. Bangka No. 2 Jakaeta.
2. Asosiasi Persepatuan Seluruh Indonesia (APSI)(Shoes)	: Gedung Patra Lt. IV Km 405 Jl. Gunung Sahari No. 39 Jakarta.
3. Asosiasi Kerajinan Kulit Indonesia (ASKRAKINDO) leather Handicraft	: Jl. Sukonandi No. 3 Yogyakarta
4. Asosiasi Pertekstilan Indonesia(API) (Textile)	: Cabang Jl. Melawai IX 13 A Blok M Panin Center Jl. Sudirman Lt. III Jakarta.
5. Asosiasi Batik Hasyim Ashari	: Jl. Irian, Menteng Jakarta.
6. Persatuan Industri Barang Jadi Tekstil Indonesia(PIPTI)Garmment	: Jl. Irian, Menteng Jakarta.
7. Federasi Perkulitan Indonesia	: Gedung Patra Lt. IV Km. 405 Jl. Gunung Sahari Raya 39 Jakarta.
8. Asosiasi Penyamak Kulit Indonesia	: Jl. Keselamatan No. 33 Jakarta.

<p><u>HANDICRAFT</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Jakarta Handicraft Centre, 12A, Jl. Pekalongan, Tel. 338157</li> <li>• Pasar Seni, Taman impian Jaya Ancol.</li> <li>• Sarinah Department Store, 11, Jl. M. H. Thamrin, Tel. 322898/323008</li> </ul>	
<p><u>GEMS &amp; JEWELRY</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Jay's Jewelry Sopping Arcade, The Jakarta Mandarin, Jalan M. H. Thamrin, Tel. 321-307 ext. 2781 Open 9am - 5pm. Look especially for their silver regional Indonesian designs. Old established Jakarta jewelry.</li> <li>• Joyce Spiro Jewelry Shopping Arcade, Hotel Borobudur Inter-Continental, Jalan Lapangan Banteng Selatan, Tel. 370-108</li> <li>• Indonesian Opal Centre Jakarta Hilton International Bazaar Shop No. 37, Tel. 587981 ext. 426</li> </ul>	
<p><u>ART</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Bintang Art Gallery Jl. W. Monginsidi 43</li> <li>• Hilton Bazaar Jakarta Hilton Hotel</li> <li>• Hadiprana Galleries Jl. Palatehan 1/38</li> <li>• Art Shop Complex Jl. Kebon Sirih Timur Dalam</li> </ul>	
<p><u>BATIK</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Batik Sidamukti Jl. Prof. Dr. Supomo</li> <li>• Batik Semar Jl. Tomang Raya</li> <li>• Batik Winotosastro Jl. Wijaya IX/1</li> </ul>	
<p><u>BOUTIQUE</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Le Must De Cartier Ratu Plaza</li> <li>• John Fashion Glodok Plaza Moda Uomo Glodok Plaza</li> <li>• Rebissa Boutique Duta Merlin</li> <li>• French Shop Duta Merlin Melawai IX/5</li> <li>• Lafayette Boutique Gajah Mada Plaza</li> </ul>	<p><u>JEWELRY</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Collection Jewelry Ratu Plaza</li> <li>• Dynasty Collection Ratu Plaza</li> <li>• Toko Mas Gajah Glodok Plaza</li> <li>• Paris Jewelry Jl. Pasar Baru Gajah Mada Plaza</li> <li>• David Harapan Gajah Mada Plaza</li> <li>• New Ven Hin Gajah Mada Plaza</li> </ul>

6. 海外及びインドネシア政府の助成振興策

6-1 MOT (NAFED) の輸出振興

'89/'90年度に工業品輸出振興・促進キャンペーンとして海外諸機関と共に58ヶ所のイベントを企画している。

この内HANDICRAFT関連では、以下が挙げられる。

- a. CALIFOORNIA GIFT SHOW, USA '89・7

b. MILAN TRADE FAIR, ITALIA '89・4

c. INT'L GIFT SHOW, SYDNEY '89・9

d. INT'L GIFT SHOW TOKYO '89・9

日本では上記の他に工業品目、食料、家具等のFAIRが4ヶ所で予定されている。

官ベースの協力で実施され、NAFED, Mr, GAOL によると以下費用が全て受け入れ機関で負担されるとのこと。

運賃、滞在費及び派遣者の旅費、それ故か3月5～11日に日本で行われるFOODEXには参加10社の他にNAFED からはわずか2名の同行とのことであった。

#### 6-2 国内での産業振興策

輸出計画を中心に各省庁、自治体で振興策が実施されている。国内の見本市も多々行われているが、ここでは海外向を中心に販売促進と技術指導に関わる諸機関を列挙する。

- BANK INDONESIA
- BAPPEENAS            国家企画庁
- BKPM
- NAFED                貿易振興庁
- AFRADOT            貿易研究開発庁
- DGFFT               外国貿易総局
- ETCC                商業教育訓練センター
- IETC                外国貿易研修センター
- BPKEPDK            輸出許可手続改善の委員会

特にNAFEDの中にはHANDICRAFT PRODUCT CENTER があり、4局に分れて輸出振興体制を整えている。

今後、国際的な輸出振興戦略のためには、この機関とも密なコンタクトを必要としよう。

MOI・BPPI (工業研究開発庁)傘下に9機関の中央開発研究所の内に、バティック手工芸開発研究所がある。(YOGYAKARTA)

#### 6-3 Deregulation

宝石等の輸出促進のため以下、規制緩和策がとられている。

(1) 宝石機械の輸入税を15%から5%へ低下。

金、宝石の生産に用いる原材料の輸入に関わる集中購買制の撤廃

(2) TOURISMの促進

「観光・郵政・通信省」から2つの許可を得れば以下のJ/Vが設立できることになった。

従来は関係省庁から33の許可が必要であった。

- ホテル

- レストラン
- 海洋観光施設
- 旅行社等

(3) 合併貿易会社の設立

これまで自社製品の輸出に業務が限定されていたが、'87・12 政策Package(PAKDES)により他の製造業者の商品を輸出することもできる。

(4) 外国人EXPERTの雇用

輸出志向企業は、商品の品質とデザインの向上のため

CONSULTING SERVICE

GUIDANCE

TRAINING

を行う外国人EXPERTを自由に雇える。外国人出張者の場合は4ヶ月の数次VISAを受けられる。

(2ヶ月延長可)

## 7. 外国からの投資

7-1 外資法の品目リスト(PRIORITY LIST)では、HANDICRAFTでは中小規模投資以外は外資が認められていない。

さらに流通が認められておらず、他資本と協調した商品企画、販売の面で極めて大きな限界がある。

現状、台湾よりの資本でJ/V PT MOMO FOMATI/JKTとPT INDONESIA GEMS INDUSTRYがJEWELRY/GEM STONEで許可を受けている。

7-2 HANDICRAFTの宝庫BALIには、缶ジュース工場と家具工場のみが進出している。

BATIK, 粒銀材工の産業資源があるJ OGYAKARTAやBALIなどに積極的な外資の誘致が望まれる。

## 8. 州単位産業動向と輸出振興

“太平洋のART CENTER”とも言えるBALIの産業動態及び輸出の状況は表IV-9, IV-10の通り。

HANDICRAFTの場合、地場産業である故、州単位の育成策をきめ細かく理解・分析する必要がある。この点でYOGYAKARTAも別途調査の対象とすべきと考える。

インドネシア側企業はパートナーの選定, 海外販路の研究, 消費者市場に合ったデザイン開発等も要求項目の主な点で州単位の地域に根ざしたヒヤリング調査も必要と思う。

尚、YOGYAKARTA市と京都府は農業、HANDICRAFT分野で協力プログラムを締結している。

今後、教育、観光、産業、科学、技術分野に拡大する予定。

表IV-9 Data: Perkembangan Unit usaha, Tenaga  
dan Nilai Produksi Sektor Industri  
BALI 1984~1988

No.	Kelompok INDUSTRI	SATUAN	TAHUN (年)				
			1984	1985	1986	1987	1988 **
1.	ANEKA 雜貨局管轄 INDUSTRI		@37人	@39人	@26人	@25人	@27人
	Unit Usaha 工場数	bh (社)	118	127	221	235	250
	Tenaga Kerja (従業員)	or (人)	4,350	4,986	5,688	5,868	6,758
	Nilai produksi (生産高)	Juta RP (百万RP)	18,959	31,791	37,723	43,932	50,959
	工場当り生産高	百万RP	(161)	(250)	(170)	(187)	(203)
2.	Ind. Kecil & KERAJI HAN 中小企業局		@ 2.4人	@ 2.5人	@ 2.7人	@ 2.8人	@ 2.8人
	U. U. (工場数)	bh (社)	70,438	74,378	84,464	86,464	96,931
	T. K. (従業員)	or (人)	169,331	189,463	231,595	240,914	269,189
	Nilai Produksi (生産高)	Juta RP (百万RP)	267,302	292,915	336,592	357,475	408,467
	工場当り生産高	百万RP	(3.8)	(3.9)	(4)	(4.1)	(4.1)

出所: MOI/Denpasar

表IV-- 1.0 REALISASI EKSPOR DAERAH BALI  
( JANUARI S/D DESEMBER 1988 )

KOMODITAS		JANUARI - DESEMBER 1988		
		SAT	VOLUME	NILAI (US000 \$)
I	INDUSTRI KECIL			
01	GARMENT	PCS	12,952,202	50,337
02	I. K. PERAK (jewelry)	PCS	1,990,640	5,065
03	I. K. KUYU (wood )	PCS	7,464,614	15,439
04	I. K. ANYAMAN (カゴ)	PCS	66,259	56
05	I. K. BATIK (パティック)	PCS	44,398	179
06	I. K. LUKISAN (PAINTING)	PCS	7,944	109
07	I. K. KULIT (LEATHER)	PCS	184,407	514
08	I. K. KULIT PENYU (SEA · LEATHER)	PCS	—	—
09	I. K. TULANG (BONE)	PCS	8,560	4
10	I. K. KERANG (SEA-FOOD)	PCS	895,755	508
11	I. K. KERAMIK (CERAMIC)	PCS	19,837	45
12	I. K. LOGAM (METAL)	PCS	249,313	296
13	I. K. ALAT MUSIK (MUSICAL TOOL)	PCS	—	—
14	I. K. PAJENG KAIN (CLOTH)	PCS	102	2
15	I. K. BAMBU	PCS	220,971	379
16	I. K. TENUN (WEAVING)	PCS	20	0.3
17	I. K. ROTAN (RATTAN)	PCS	58,825	139
18	I. K. LAINNYA (CLOTH)	PCS	311,327	262
19	PAHA KODOK (THIGH FROG)	KG	149,779	603
20	LEMAK SAPI (COW FAT)	KG	—	—
21	KASET BALI (AUDIO-CASSETTE)	PCS	2,207	3
22	SEPEDA MOTOR BEKAS (中古二輪)	PCS	2	1
23	SIRIP IKAN HIU (SHARK FIN)	KG	10,997	29
24	I. K. JAMU (TRADITIONAL MEDICINE)	KG	411	9
25	DUPA WANGI (PERFUME)	KG	32,546	65
26	KULIT KALAJENKING	EKOR	291	0.8
27	MINYAK IKAN HIU (SHARK OIL)	KG	3,600	13
28	MINYAK KELAPA (COCONUT OIL)	KG	20	9
29				
30				
31				
	SUB TOTAL		—	74,076
II	ANEKA INDUSTRI			
01	IKAN DALAN KALENG (FISH)	KG	4,779,503	11,228
02	LOBSTER	KG	87,872	762
03	BERICOT DALAM KALENG (かたつむり)	KG	—	—
04	TEPUNG RUMPUP LAUT (粉草)	KG	15,000	2
	SUB TOTAL		—	11,992

## 9. 海外との協力

“GIFTITEM SEMINAR TO USA '89”

昨年、インドネシア工業省の主催で、アメリカの講師団を招き、上記セミナーが開かれた。講演の内容を以下列挙する。（工業省中小企業局Mr Putjuk よりテープを借りたもの）

1. インドネシアは工芸品の供給ポテンシャルに富んでいる。
2. 技術的にも高度な、専門的なレベルを誇れる面もある。
3. 産業として育成するKey-Factorとしてのポイント
  - マーケティングシステム — 如何に販売できるか
  - 包装 — 中味の良し悪しも包装の美しさ次第である  
Value-ADDED の効果もある
  - 品質 — 安定した顧客、リピートオーダーを重ねられること。
4. 例えばTexasまでBulk cargoで船積みし、そのWare HouseでUSA市場に合ったpacking をする。小口のquick deliveryをすることも考えられる。
5. USAは大きなGIFT市場があり、常に“新しく変わった品”を求めている。  
2億4千万人の人口、一人当り所得17,000ドル 40億ドルのギフト市場
6. 大きな“Promotional Campaign”を企画すべき政府、協会、組合、ショールーム等が連携し、「両親」や「子供」という消費市場も開拓すべし。
7. 商品開発、RE-ORDER獲得のTIMING、パターン、デザイン、シリーズ構成、カラー、品質、納期等の市場に合う要件を研究すべし。
8. TOYS産業など子供向けも市場は大きい。 以上

## 10. 産業育成と輸出奨励に関する所見

前述の各要件に関するFACT-FINDING分析を基に、HANDICRAFTについては、特に工業的側面よりも「商業的アプローチ」が肝要でその観点よりHANDICRAFT産業全体の育成策と輸出奨励への所見を以下に述べる。

### 10-1 海外政府への協力援助要請

- a. 地場のオリジナル（旧態的）デザインでなく、国際的商品としてのデザイン・仕様に適する商品開発・大量生産・納期への対応、消費者の満足するパッキングなどについて改善してゆく必要がある。
- b. この目的のためデザイン開発、教育訓練・輸出実務研修のセンターを創設する。  
最大の消費国である米国、日本、シンガポール、香港などからの資金と技術の援助を集合して世界全体に供給できる“ART CENTER”としての基礎研究、訓練センターとして位置づける。

c. 品目の優先としては、既述の通り国際的稀少貴金属をベースとして、付加価値が高いFASHI-ON製品のデザイン・技術センターとする。

#### 10-2 海外の官民及びインドネシア政府の支援

- a. インドネシア物産品の国際展示会、見本市の開催、参加を大巾に多く開催する。  
日本では、現状の3～5倍の予算規模・回数を増やす。
- b. そこには、原料・製造工程の展示コーナー、及び製作の実演コーナーを設け「製造の現場」と「インドネシア工芸技術」の魅力をPRし、消費国に理解を深めてもらう。
- c. その費用は、公的機関又は消費国が負担し、利益の還元を関係者と製作会社で分配する。
- d. 人と物品、技術の大巾な交流が、外貨の獲得につながることを確信できる。

#### 10-3 国内流通等におけるDeregulation及び奨励策

- a. 昨年12月貿易及び卸売業者の分野で一部外資が認められた。  
製造のJ/Vは貿易面で別の会社設立を認められているが、小売業への外貨進出はまだ認められていない。
- b. 日本の「そごう」は現地デパートへの技術（経営）援助の形態で、昨年末進出している。  
今後、流通面から本商品取り扱いを大巾に増やす必要あり、徐々に創業の利益、資本参加のメリットを受けられる様、規制の緩和が必要と思う。
- c. 買付業者ミッション等に関する特典を供与する。  
例えば① 販売委託制度の設定  
② 買い戻し（売れ残り物品の処理）制の検討  
③ 航空会社、ホテル、レンタカー会社との協賛により、航空賃、滞在費を廉価で供与する。
- d. 昨年末、輸出目的の販売会社設立が認可され、繊維の輸出等を中心として貿易会社を設立する方向にあり、流通面での日本の協力が一段と期待されている。

#### 10-4 海外民間企業との買付・技術・貿易の面での協力推進

- a. 各国の大手貿易、流通会社、デザイナー、ギフト品商社との交流・取引促進を増やす。  
例えばニューヨークにインドネシアのSARINAHデパートが出店し、経営に苦しんでいるが、米国、日本の経営指導を要請すべくプログラムを組むべきである。  
参加した会社には、当然利益を還元できることを制度化する。
- b. デパート、スーパー、観光業者、ホテルなど取扱い業者及び大口消費者の協会、団体に販路拡大のキャンペーンを行う。
- c. 最大の効果を達せられると確信できる「観光」を推進する。投下資本がなくて、観光客が外貨を落す観光産業に日・伊両国の民レベルのより近道な協力を実施したい。

現在、約120万人位の外国旅行者を数年後250万人に増やす計画にある。